

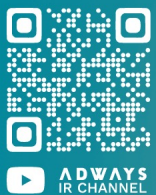
ADWAYS

2023

FEBRUARY 9, 2024

**PRESENTATION
MATERIAL**

FULL YEAR
FY2023



ADWAYS
IR CHANNEL

東京証券取引所プライム市場：2489
株式会社アドウェイズ

2023年12月期
決算説明会

2024年2月9日
代表取締役社長 山田 翔

2023



目次

1. 通期業績 ... P.4
2. 第4四半期の業績 ... P.16
3. 株主還元 ... P.27
4. 業績予想 ... P.29
5. 事業概況 ... P.32
6. 補足資料 ... P.52

本資料における記載方法について

- 2021年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。それに伴い「旧基準での売上高」を「取扱高」として記載しております。
- 取扱高は、会計監査人による監査を受けた正式な数値ではない事をご了承ください。
- 2021年12月期から決算期を変更した事により、2021年12月期は国内会社9ヶ月間、海外子会社12ヶ月間、2021年12月期第3四半期は国内会社3ヶ月間、海外子会社6ヶ月間となります。
- 2022年12月期より報告セグメントを、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援を行う「エージェンシー事業(国内/海外)」と、UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービスの運営を行う「アドプラットフォーム事業」としております。
- 売上総利益率、販管費率、営業利益率、経常利益率、利益率(親会社株主に帰属する四半期純利益率)、売上原価率、掲載料率は取扱高に対する比率を記載しております。

Chapter1 : Full Year FY2023 results

1.

通期
業績

期
績

2023年12月期業績予想と実績

[単位：百万円]

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
業績予想	58,919	13,500	800	1,120	750
実績	59,006	13,524	921	1,313	966
増減額	87	24	121	193	216
達成率	100.1%	100.2%	115.2%	117.2%	128.8%

当期の業績と前期比較

単位：百万円

	2023年12月期 累計	前期比 2022年12月期累計		
		実績	増減額	増減率
取扱高	59,006	59,590	▲584	▲1.0%
売上高	13,524	13,415	+108	+0.8%
売上総利益	10,950	10,806	+144	+1.3%
販管費	10,029	9,135	+894	+9.8%
営業利益	921	1,671	▲749	▲44.9%
経常利益	1,313	1,506	▲193	▲12.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	966	2,536	▲1,570	▲61.9%

取扱高 前期比 5億84百万円の減少 (1.0%減)

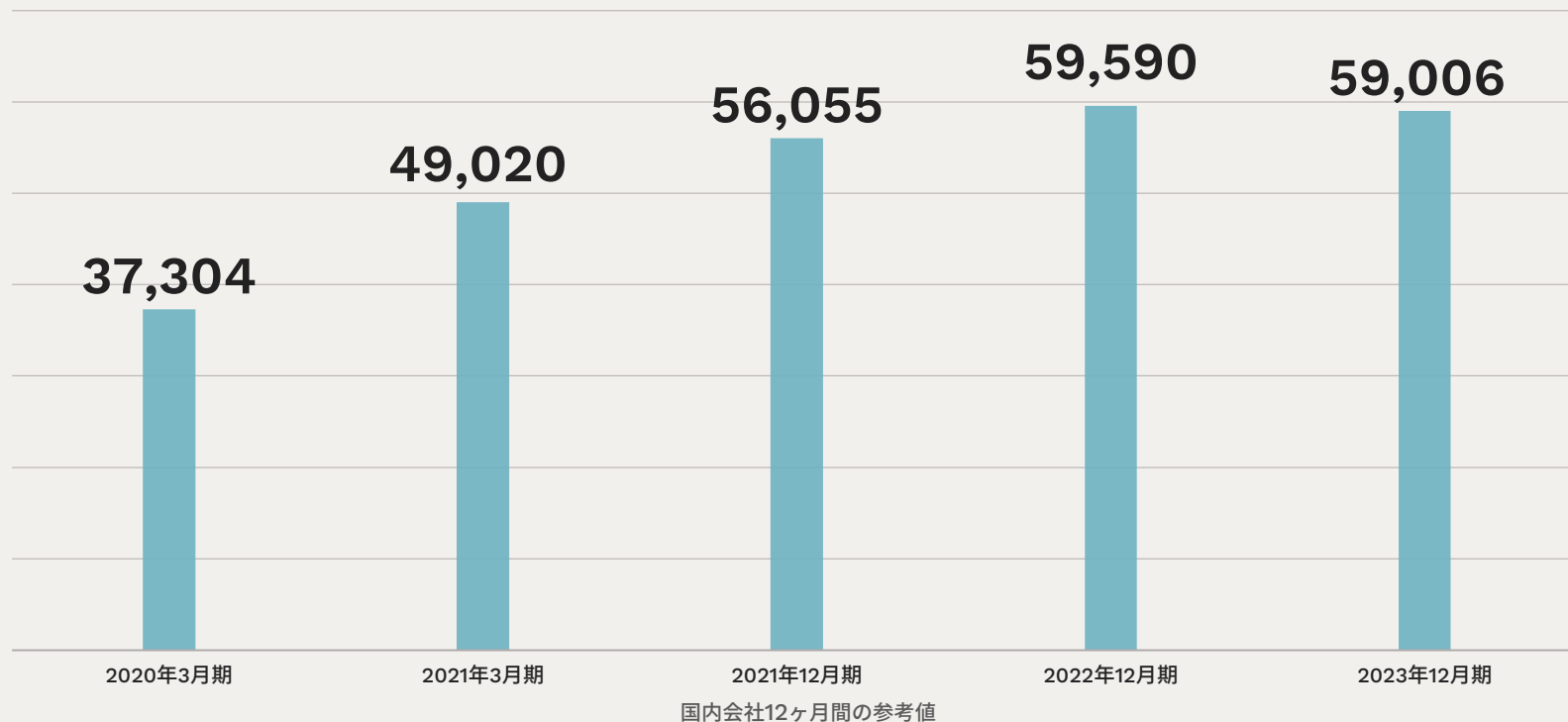
営業利益 前期比 7億49百万円の減少 (44.9%減)

当期のセグメントサマリー

<p>エージェンシー事業 (国内)</p>	<p>セグメント取扱高：245億5百万円 前期比：19億41百万円減少（7.3%減）</p> <p>ゲームアプリ、マンガアプリで、市場のコモディティ化や人気アプリがリリースから長期間経過し新鮮味が失われつつある事などによって、クライアントの収益が減少傾向となり、広告予算が減少。</p>
<p>エージェンシー事業 (海外)</p>	<p>セグメント取扱高：93億81百万円 前期比：2億49百万円減少（2.6%減）</p> <p>アプリ事業では台湾でクライアントの予算縮小や大型のゲームアプリのリリース本数が減少。ブランド事業でも台湾の景気悪化によって予算が縮小した事などにより減少。</p>
<p>アドプラットフォーム 事業</p>	<p>セグメント取扱高：226億59百万円 前期比：15億62百万円増加（7.4%増）</p> <p>UNICORNは外部環境やロジックの不備により減少となったものの、JANetの金融ジャンルを中心にアフィリエイト広告が大きく伸長。</p>

取扱高の年度推移

単位：百万円

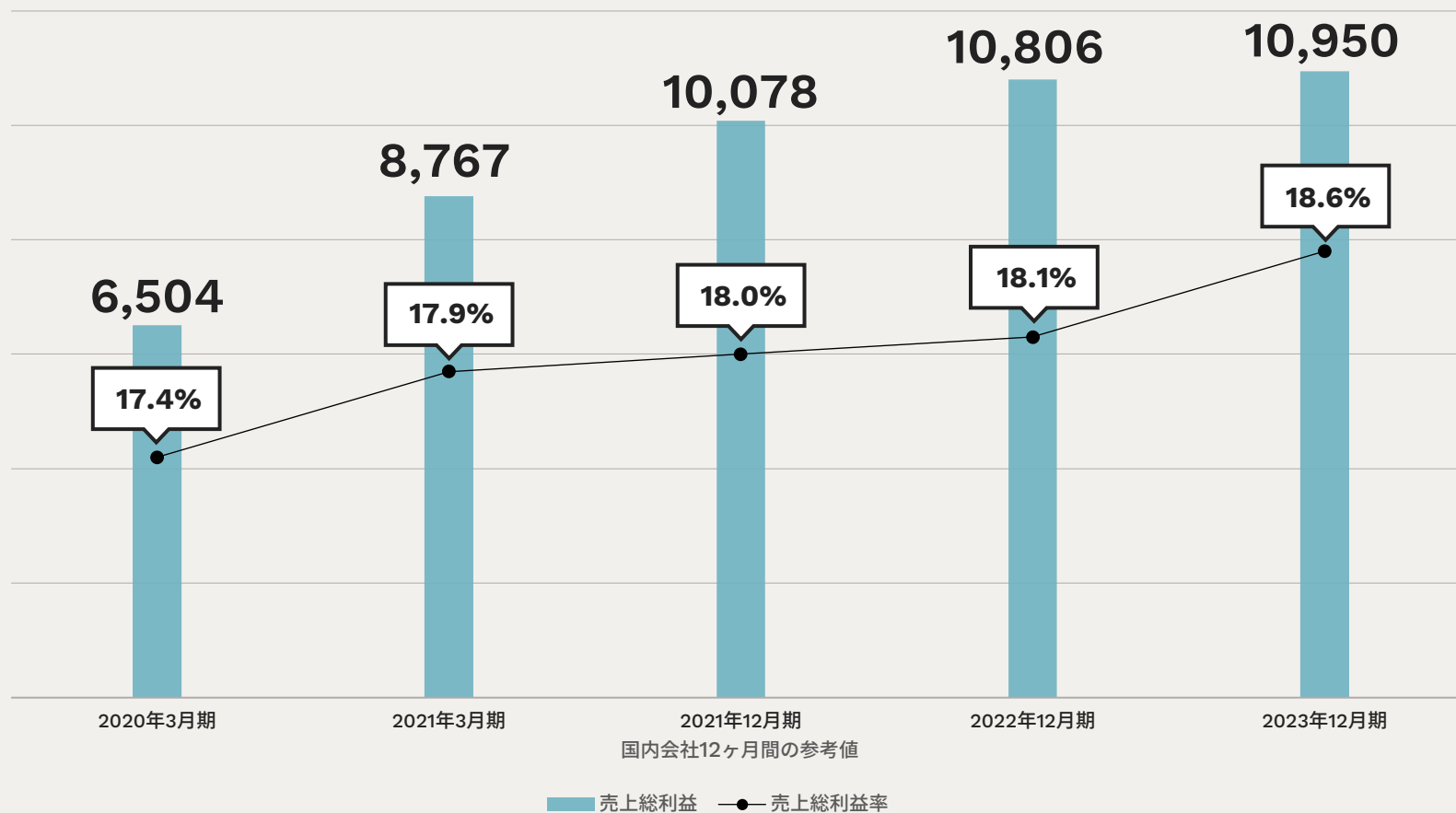


当期取扱高 590億6百万円

前期比：5億84百万円減（1.0%減）

売上総利益の年度推移

単位：百万円



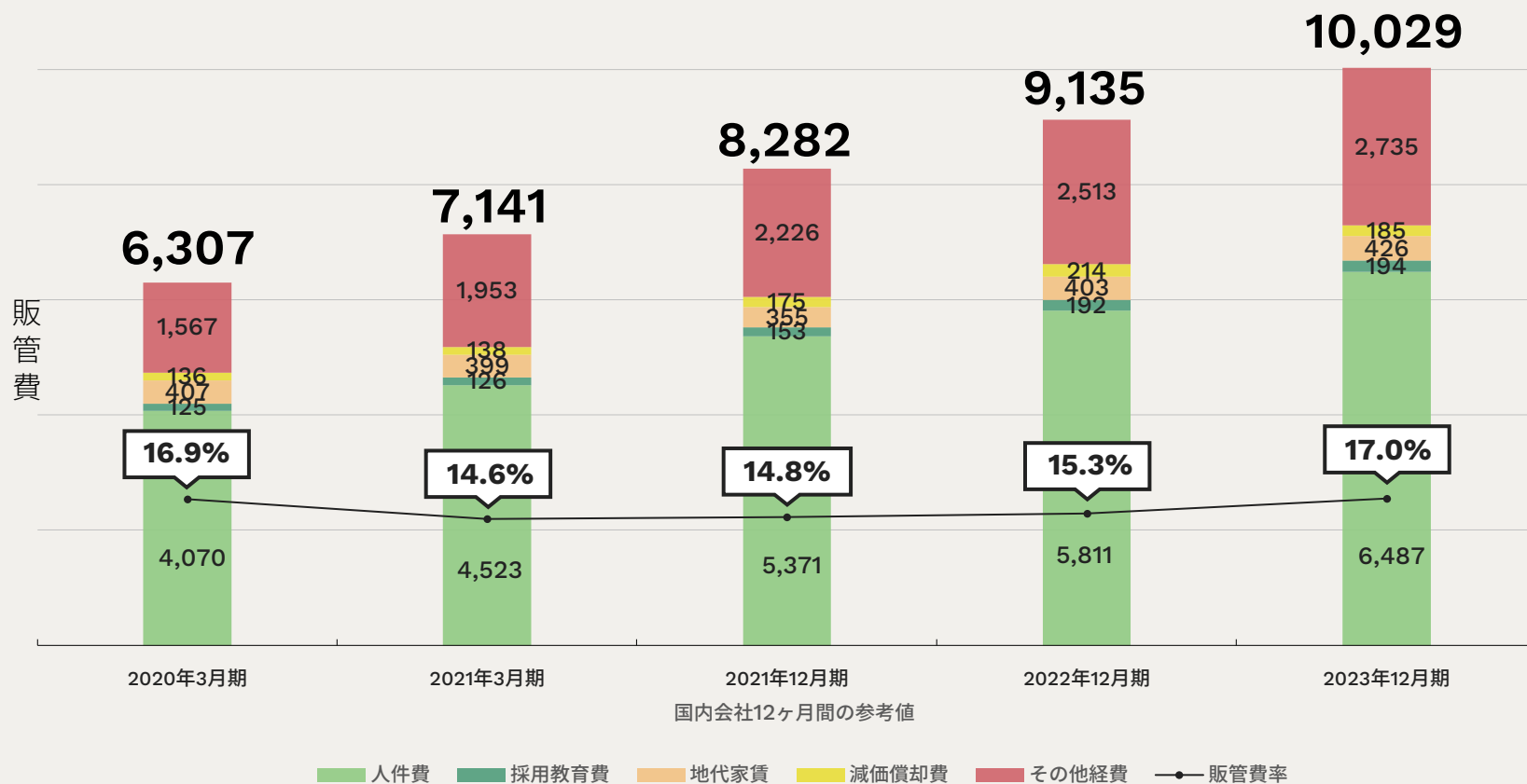
当期売上総利益 109億50百万円

前期比：1億44百万円増（1.3%増）

売上総利益率：18.6%（0.4ポイント増）

販管費の年度推移

単位：百万円



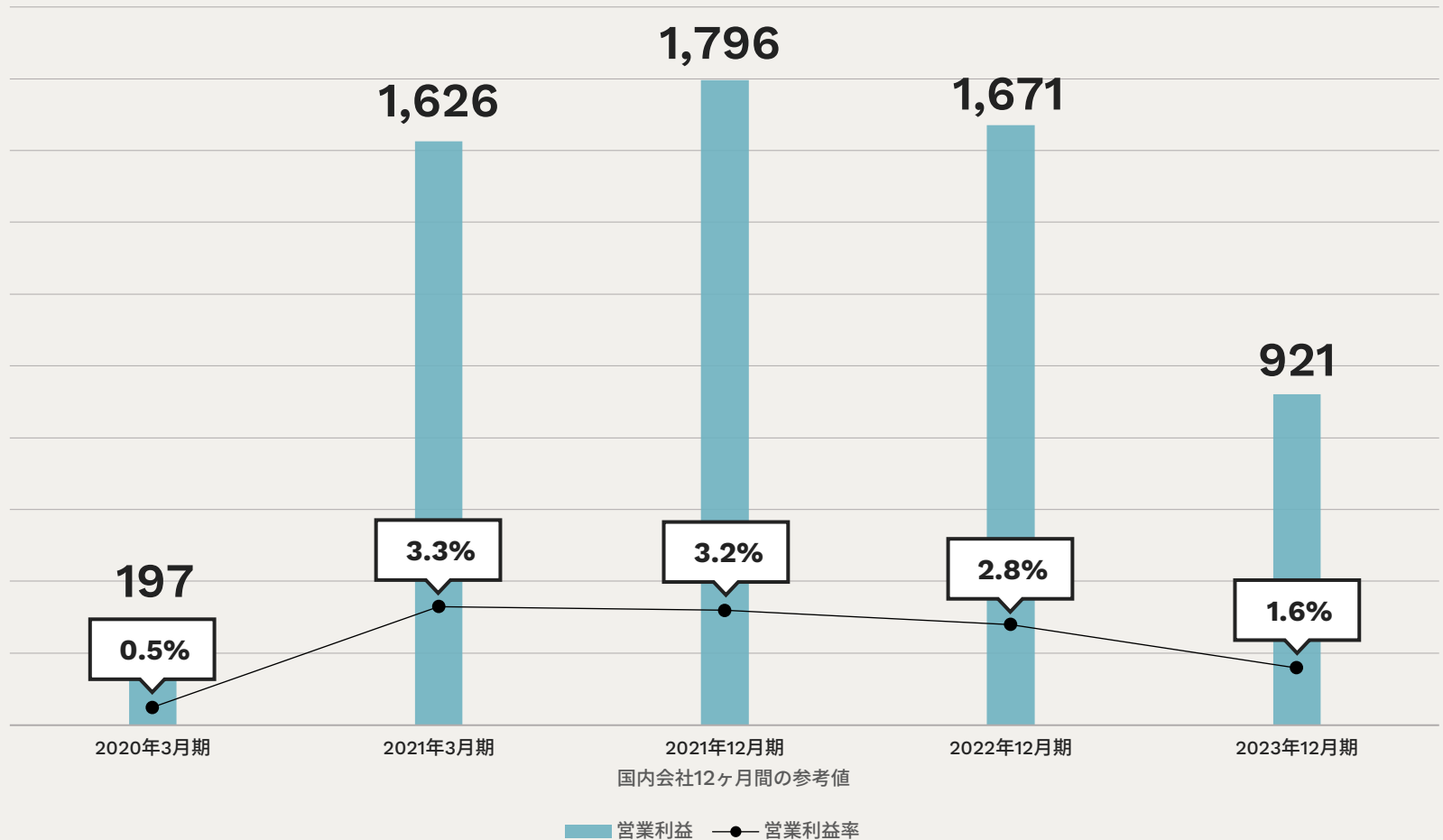
当期販管費 100億29百万円

前期比：8億94百万円増（9.8%増）

販管費率：17.0%（1.7ポイント増）

営業利益の年度推移

単位：百万円



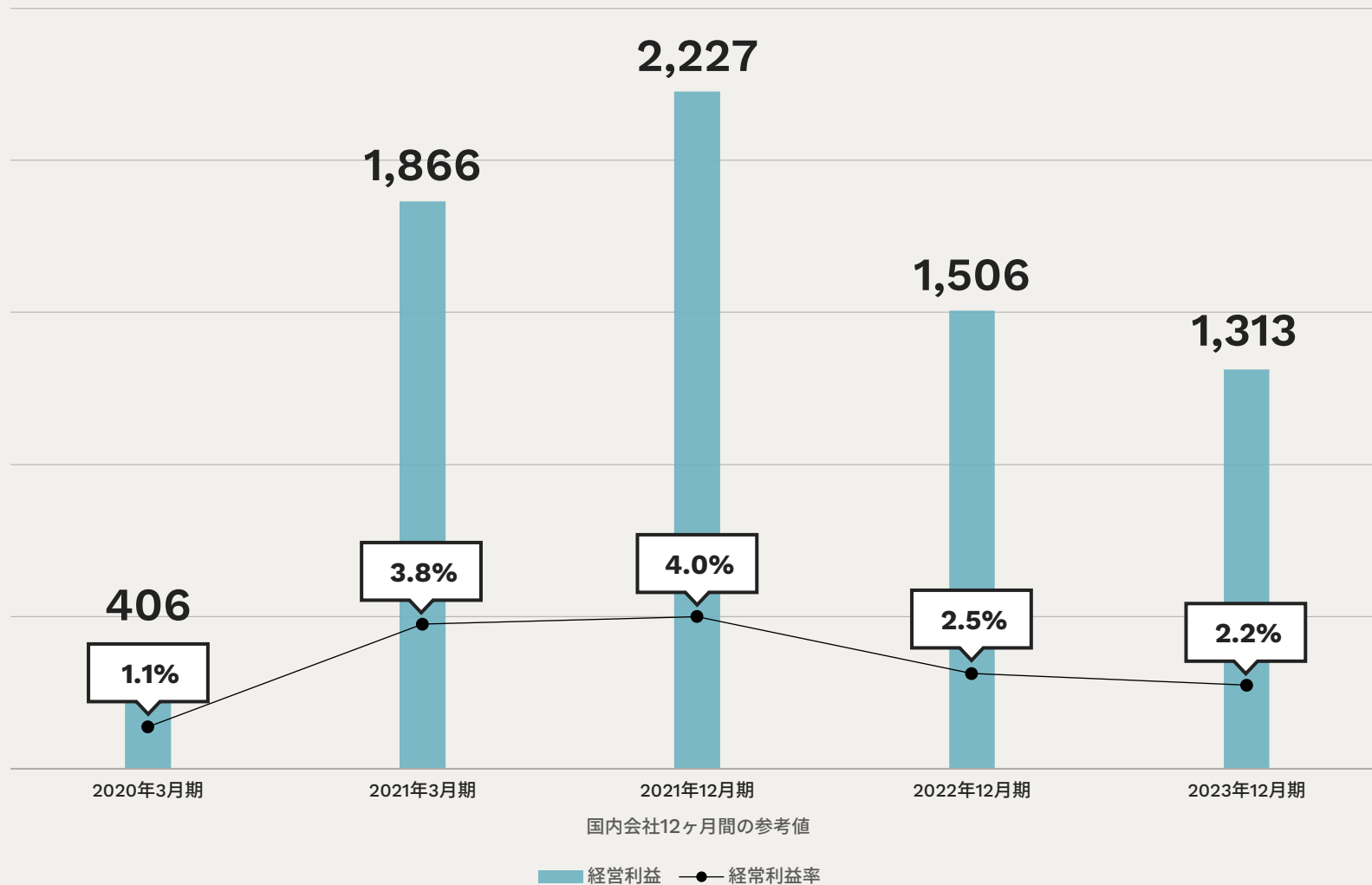
当期営業利益 9億21百万円

前期比：7億49百万円減（44.9%減）

営業利益率：1.6%（1.2ポイント減）

経常利益の年度推移

単位：百万円



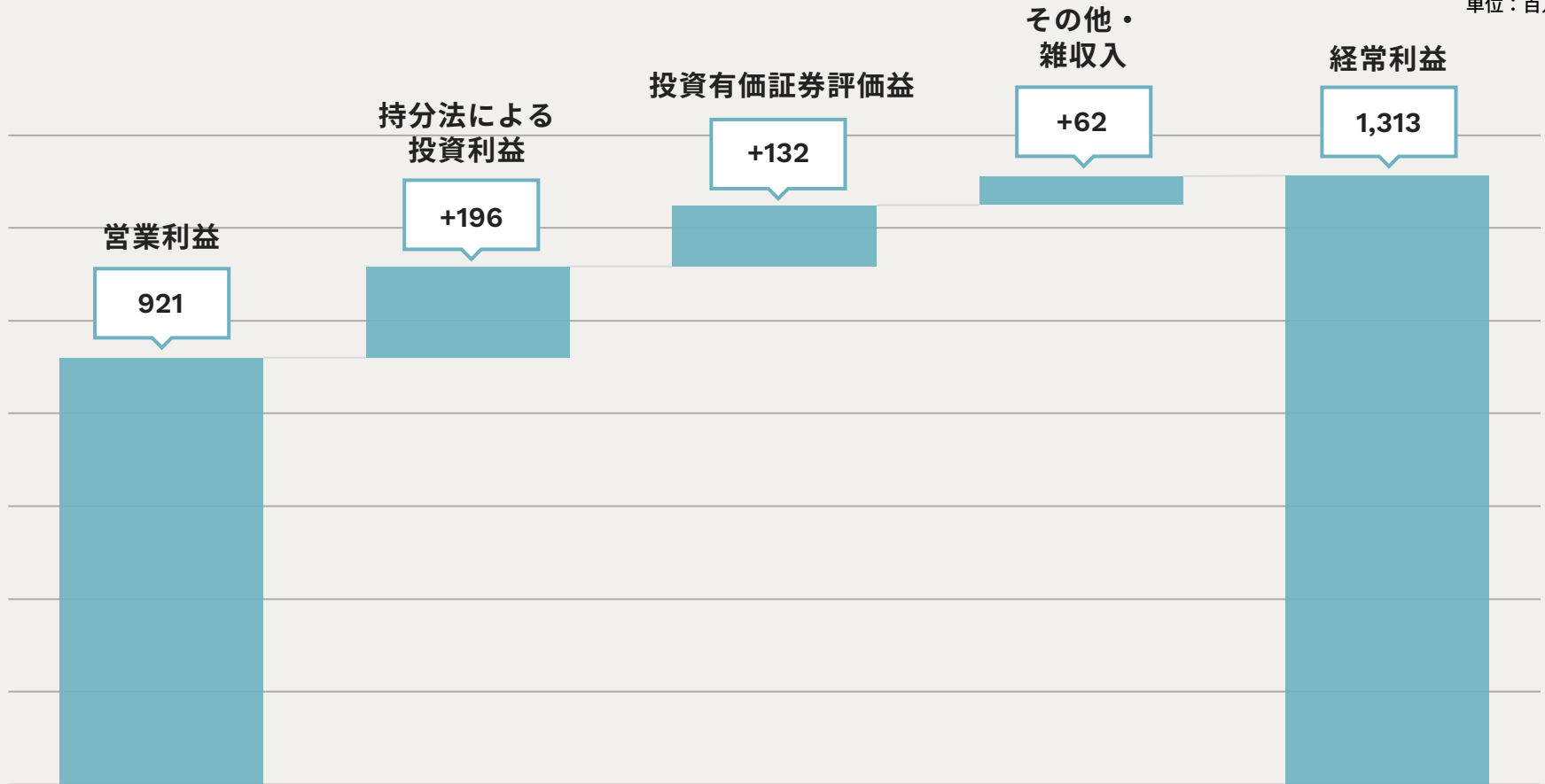
当期経常利益 13億13百万円

前期比：1億93百万円減（12.9%減）

経常利益率：2.2%（0.3ポイント減）

経常利益の推移

単位：百万円

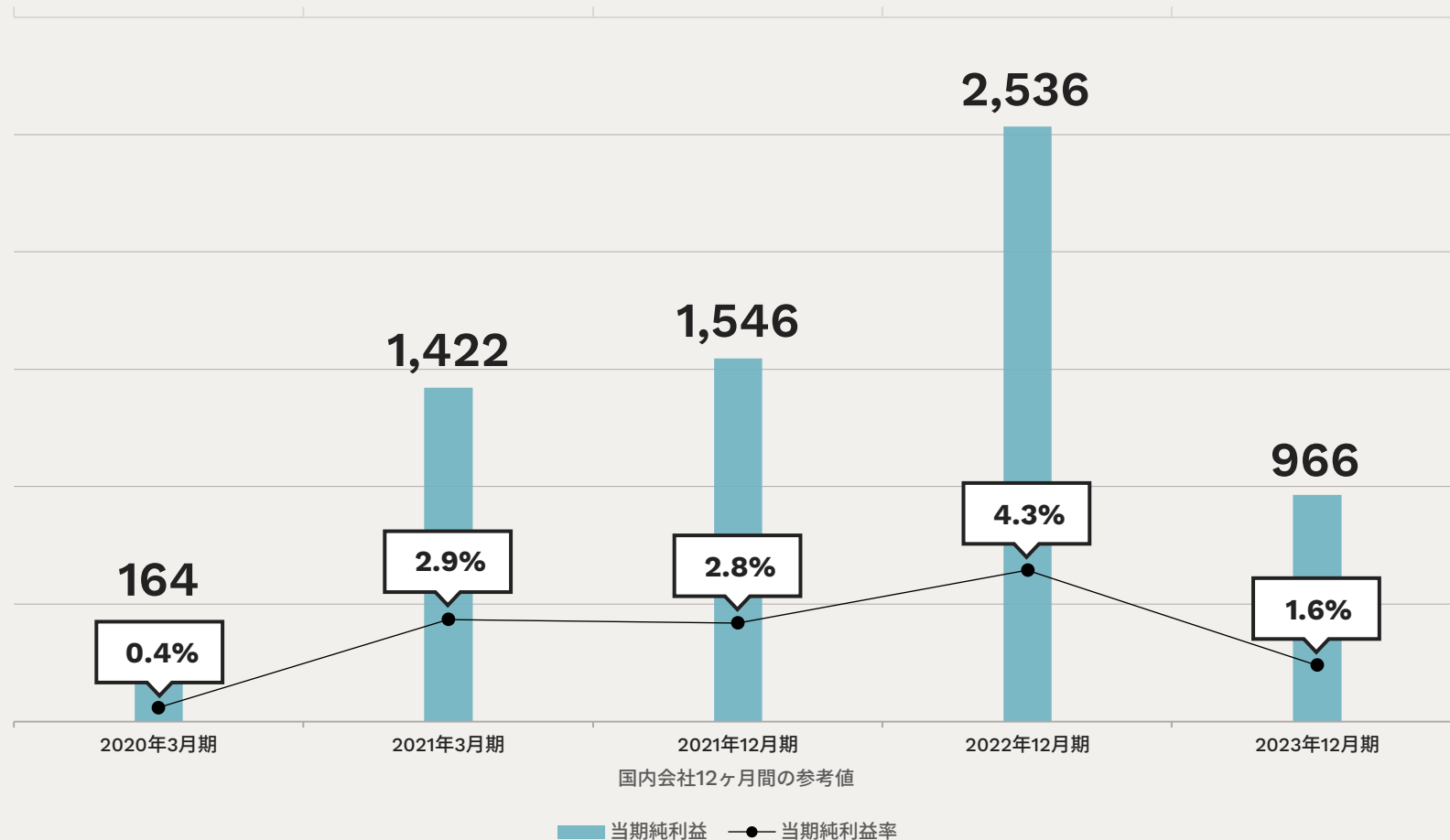


持分法による投資利益 . . . 1億96百万円 その他・雑収入 62百万円

投資有価証券評価益 1億32百万円

親会社株主に帰属する当期純利益の年度推移

単位：百万円



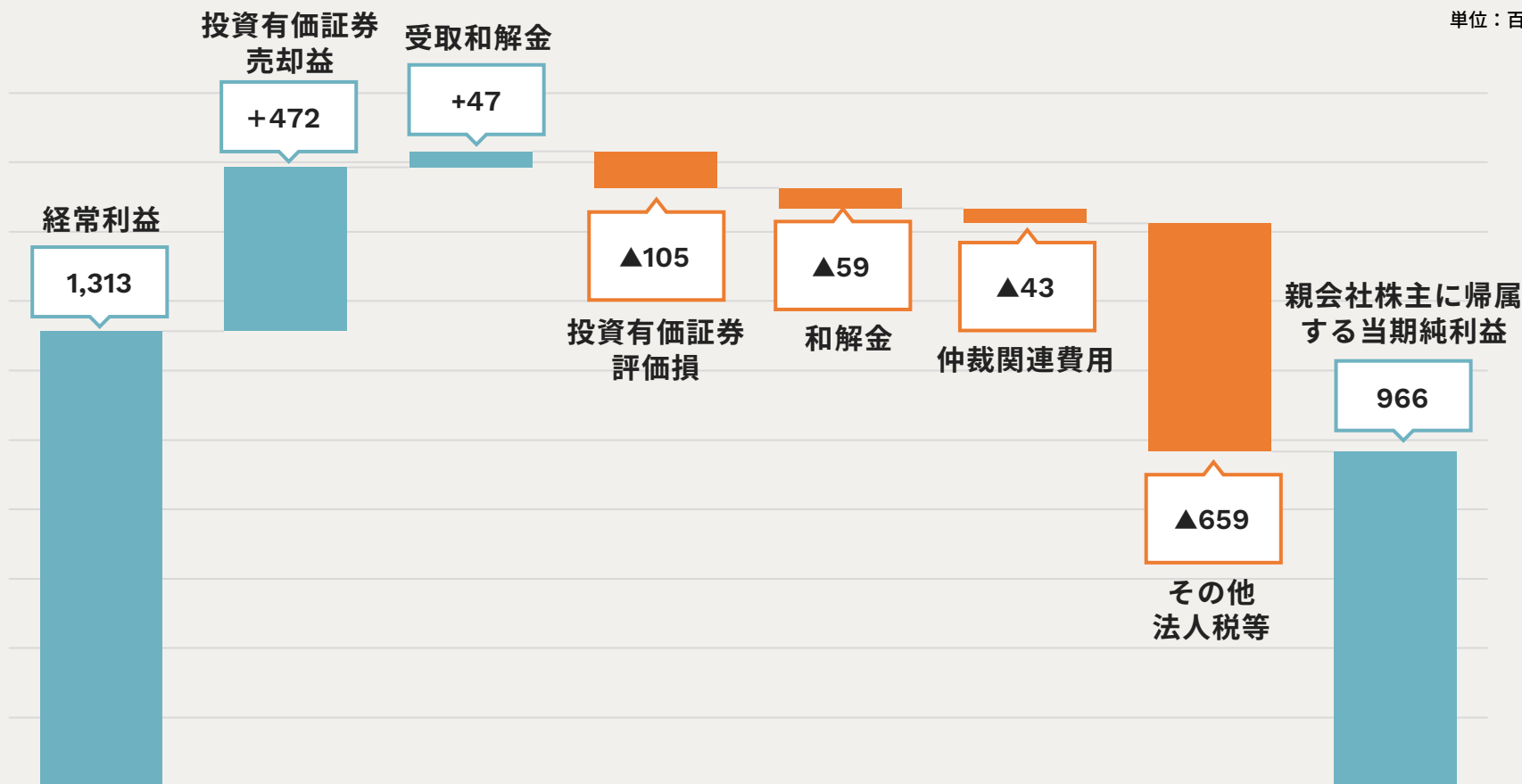
親会社株主に帰属する
四半期純利益 9億66百万円

前期比：15億70百万円減（61.9%減）

利益率：1.6%（2.6ポイント減）

親会社株主に帰属する当期純利益の推移

単位：百万円



投資有価証券売却益 . . . 4億72百万円
 受取和解金 47百万円
 投資有価証券評価損 . . . ▲1億5百万円

和解金 ▲59百万円
 仲裁関連費用 ▲43百万円
 その他法人税等 ▲6億59百万円

Chapter2 : **Fourth quarter results**

2 .

第4
四半期
の業績

当四半期の業績と 前年同四半期・前四半期比較

単位：百万円

	2023年 12月期 第4四半期	前年同四半期 から当四半期 推移	前年同四半期比 2022年12月期第4四半期			前四半期比 2023年12月期第3四半期		
			実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
取扱高	14,637		14,417	+220	+1.5%	14,306	+331	+2.3%
売上高	3,402		3,468	▲65	▲1.9%	3,278	+124	+3.8%
売上総利益	2,633		2,827	▲194	▲6.9%	2,678	▲45	▲1.7%
販管費	2,368		2,346	+21	+0.9%	2,651	▲283	▲10.7%
営業利益	265		481	▲216	▲44.9%	26	+238	+900.7%
経常利益	405		493	▲87	▲17.8%	104	+301	+288.6%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	296		1,127	▲831	▲73.7%	▲20	+316	—

取扱高 前年同四半期比 2億20百万円の増加 (1.5%増)
前四半期比 3億31百万円の増加 (2.3%増)

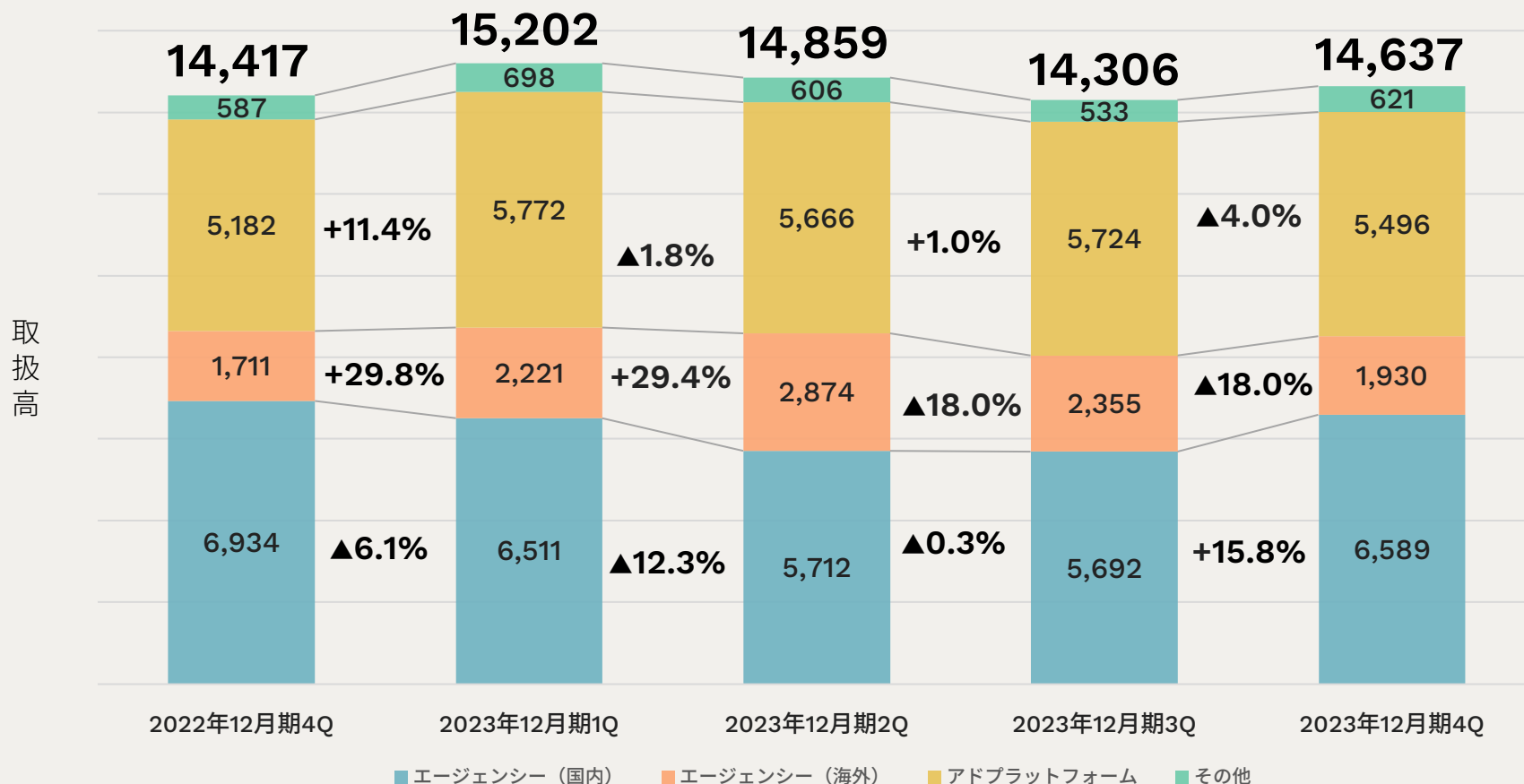
営業利益 前年同四半期比 2億16百万円の減少 (44.9%減)
前四半期比 2億38百万円の増加 (900.7%増)

当四半期のセグメントサマリー

<p>エージェンシー事業 (国内)</p>	<p>セグメント取扱高：65億89百万円 前年同四半期比：3億45百万円減少（5.0%減）</p> <p>前年同四半期にクライアントの都合によりプロモーションを停止していたマンガアプリのプロモーションが再開した事などによりマンガアプリは増加。前年同四半期に大型プロモーションを行っていたタイトルの予算縮小などによりゲームアプリは減少。</p>
<p>エージェンシー事業 (海外)</p>	<p>セグメント取扱高：19億30百万円 前年同四半期比：2億18百万円増加（12.8%増）</p> <p>海外クライアントによるアプリゲームの日本国内配信が伸長。 為替の影響もあり増加。</p>
<p>アドプラットフォーム 事業</p>	<p>セグメント取扱高：54億96百万円 前年同四半期比：3億13百万円増加（6.0%増）</p> <p>UNICORNでは前年同期の一時的な大型プロモーションの反動減があったものの、JANetの金融ジャンルを中心にアフィリエイト広告が大きく伸長。</p>

取扱高の四半期推移

単位：百万円



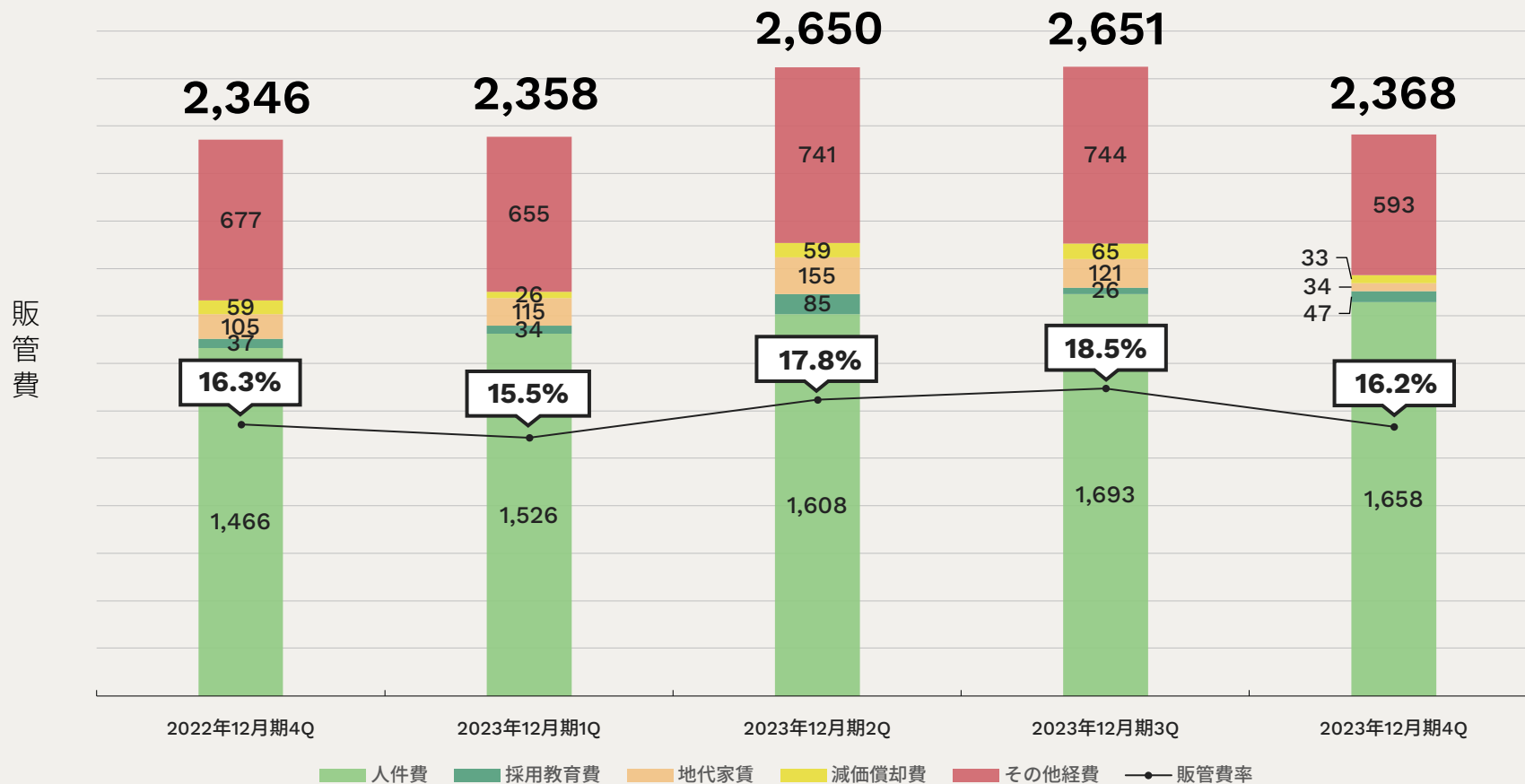
当四半期取扱高 146億37百万円

前年同四半期比：2億20百万円増（1.5%増）

前四半期比：3億31百万円増（2.3%増）

販管費の四半期推移

単位：百万円

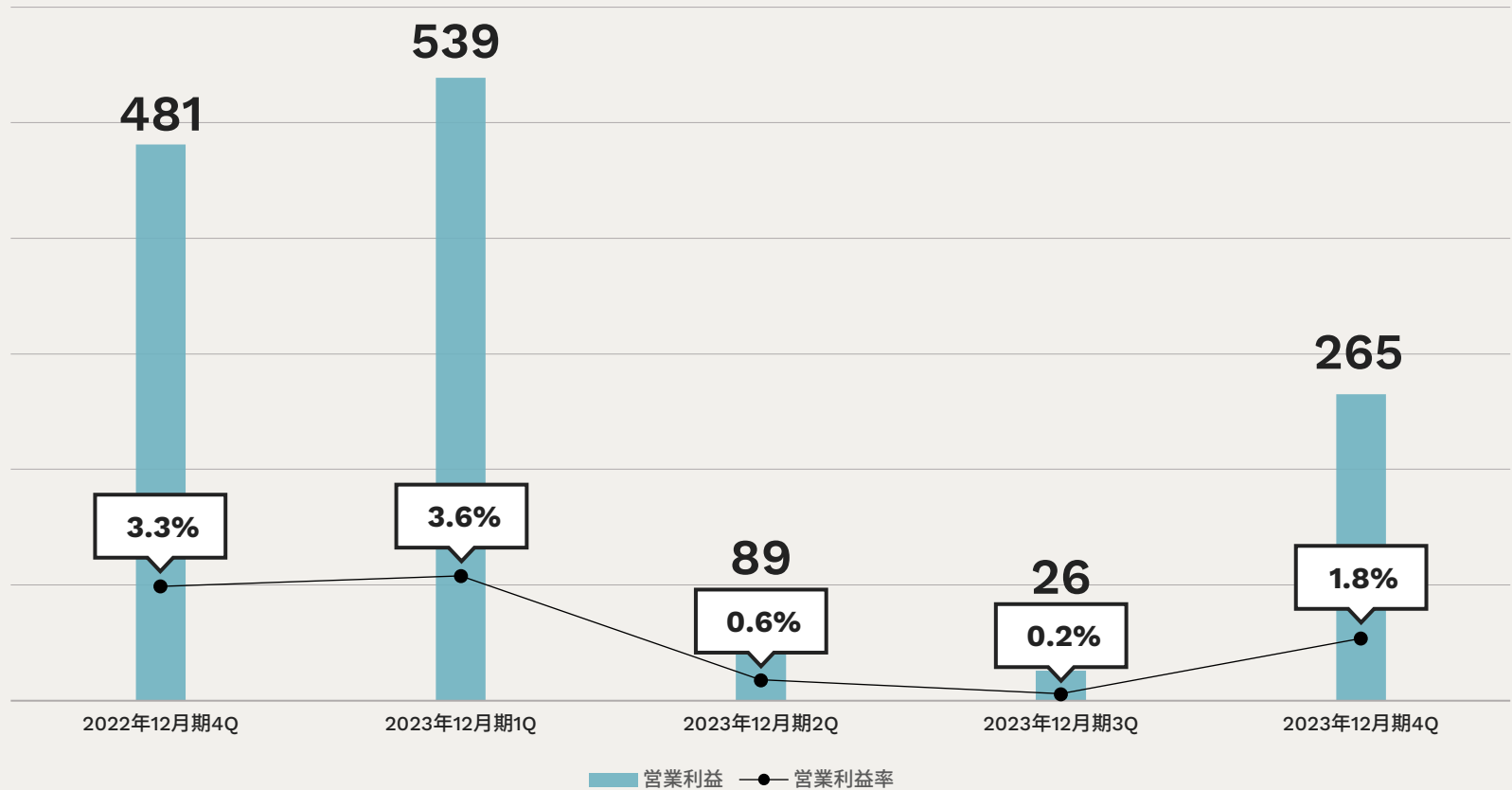


当四半期販管費 23億68百万円

前年同四半期比：21百万円増（0.9%増） 販管費率：16.2%（前年同四半期比0.1ポイント減）

営業利益の四半期推移

単位：百万円

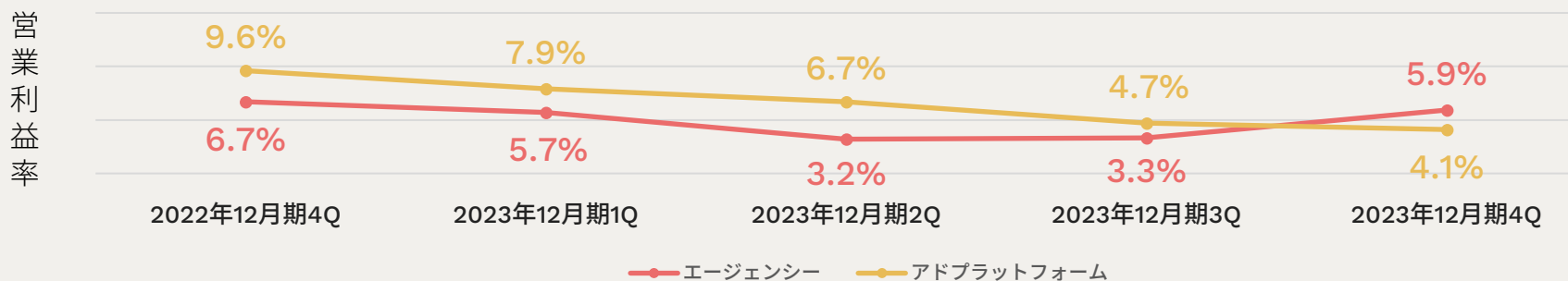
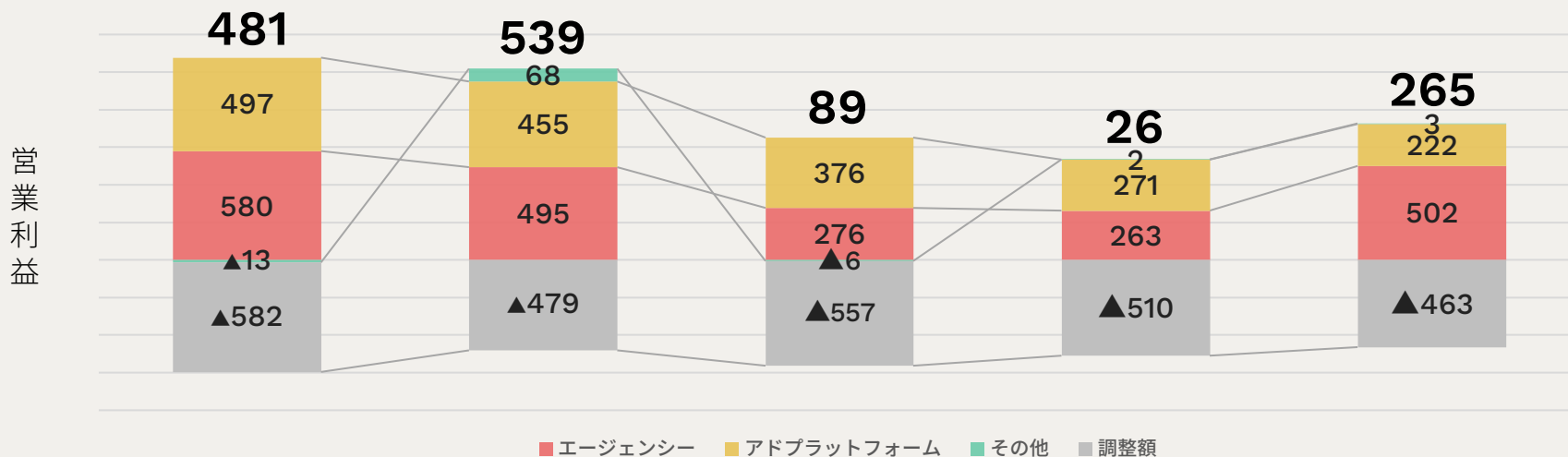


当四半期営業利益 2億65百万円

前年同四半期比：2億16百万円減（44.9%減） 営業利益率：1.8%（前年同四半期比1.5ポイント減）

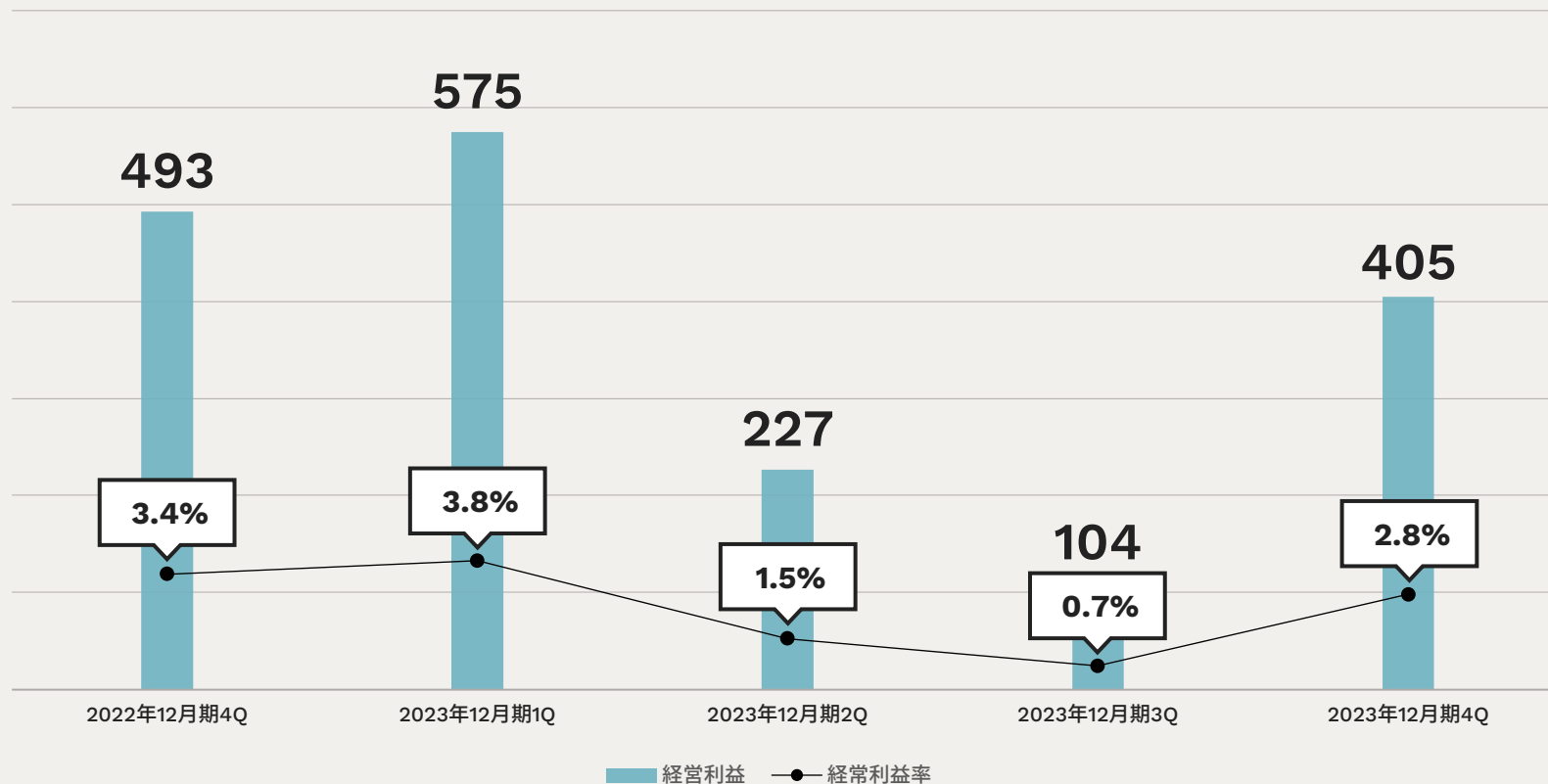
営業利益の四半期推移 (セグメント別)

単位：百万円



経常利益の四半期推移

単位：百万円

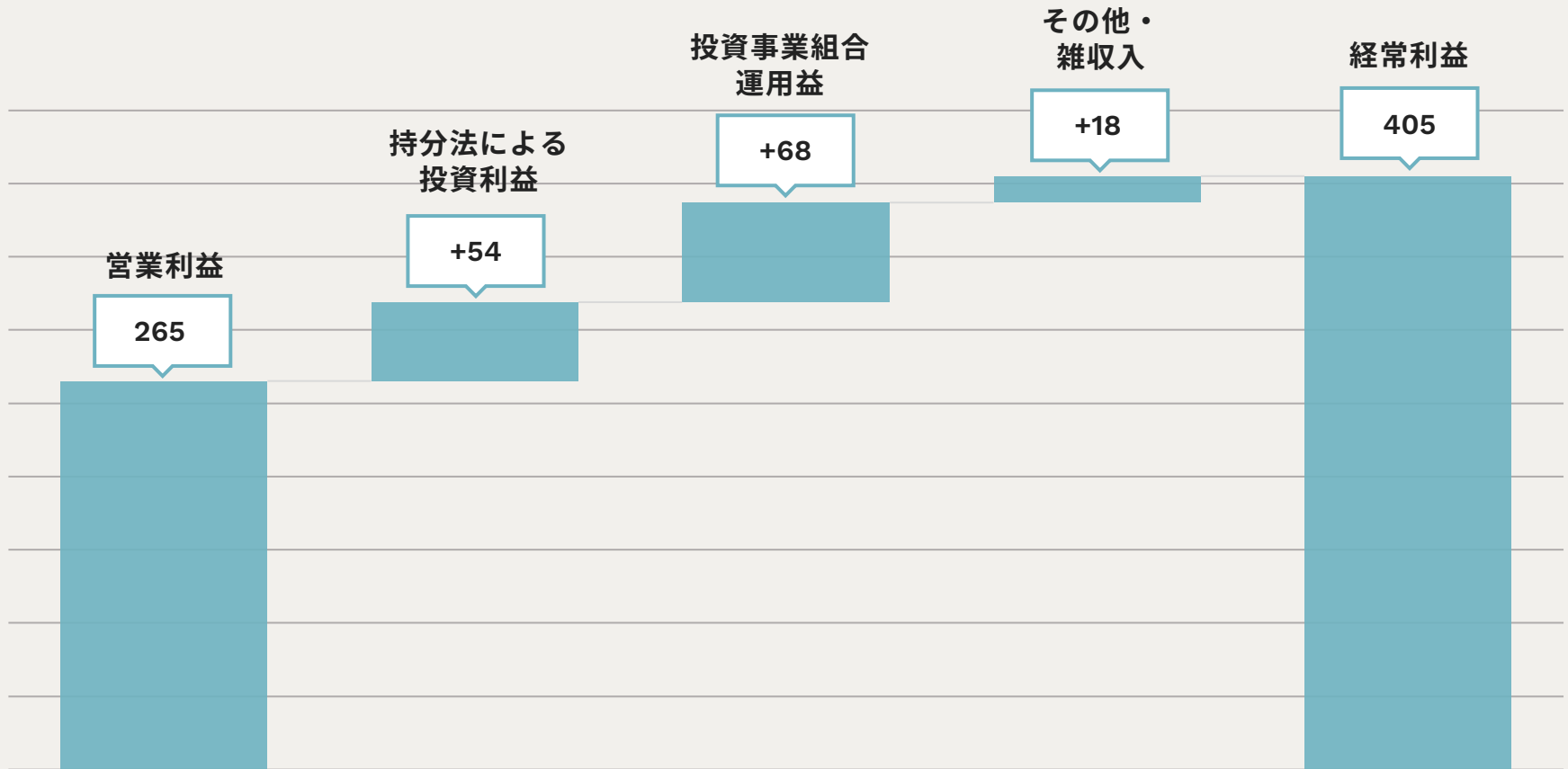


当四半期経常利益 4億5百万円

前年同四半期比：87百万円減（17.8%減） 経常利益率：2.8%（前年同四半期比0.6ポイント減）

四半期経常利益の推移

単位：百万円



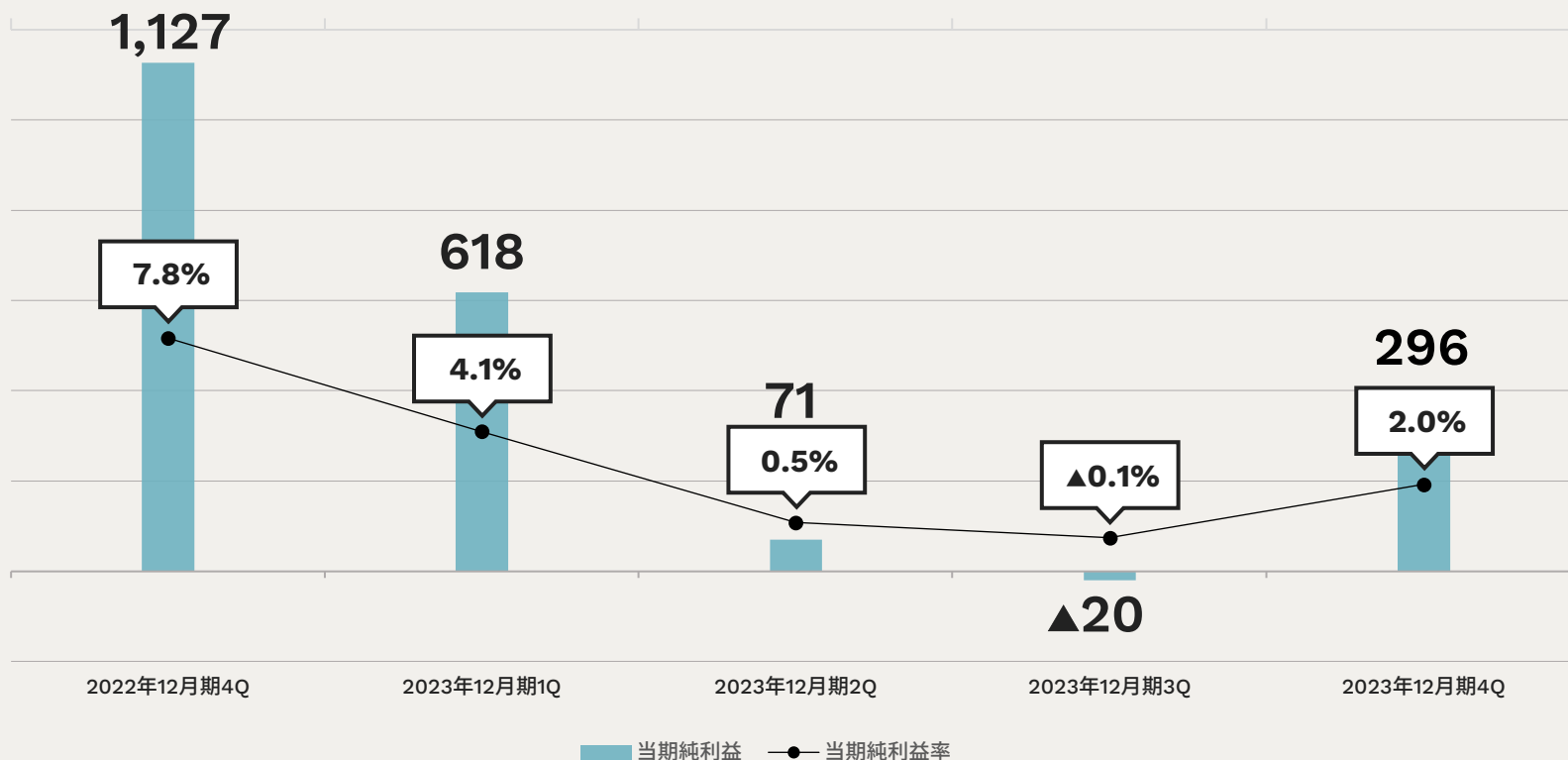
持分法による投資利益 54百万円

投資事業組合
運用益 68百万円

その他・雑収入 18百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益の四半期推移

単位：百万円



親会社株主に帰属する

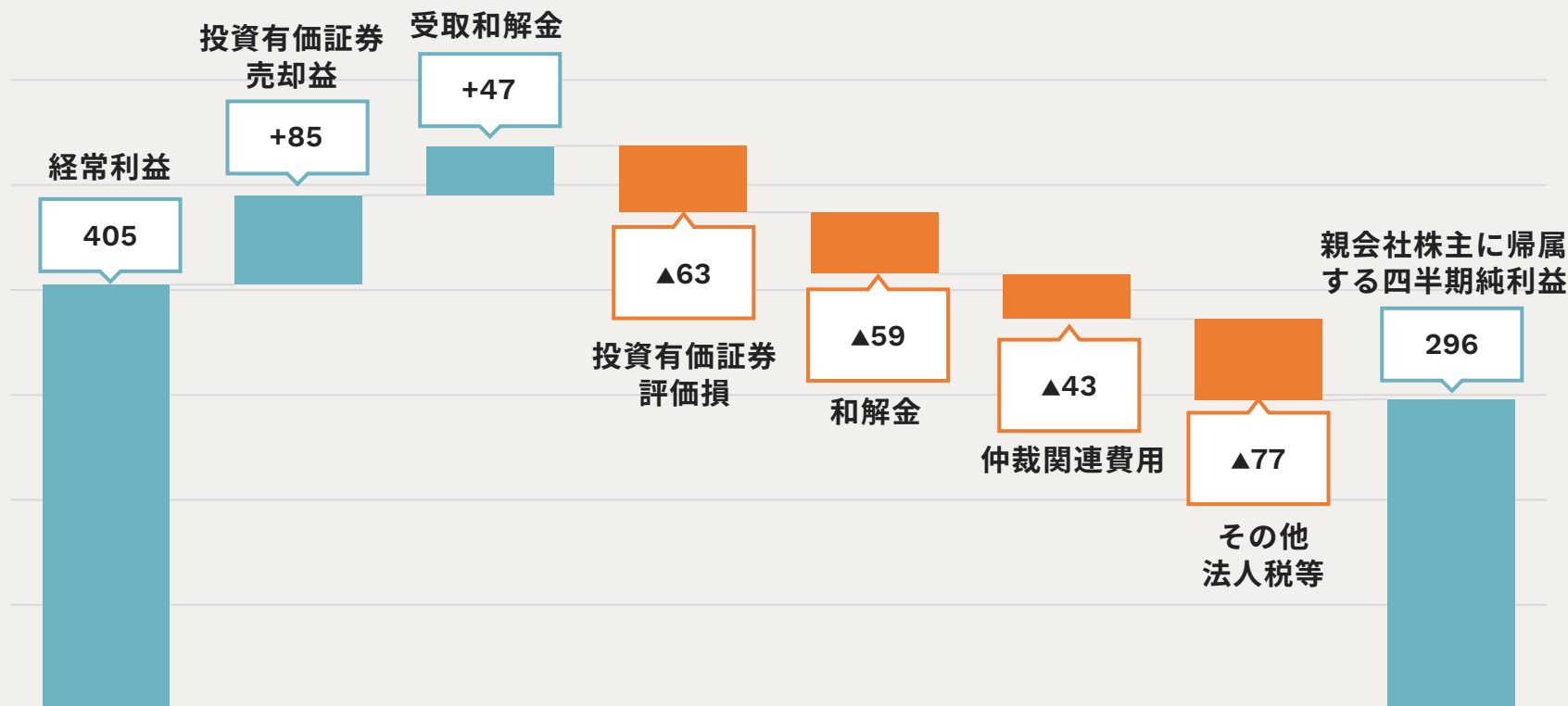
四半期純利益 2億96百万円

前年同四半期比 : 8億31百万円減 (73.7%減)

利益率 : 2.0% (前年同四半期比5.8ポイント減)

親会社株主に帰属する四半期純利益の推移

単位：百万円



投資有価証券売却益	85百万円	和解金	▲59百万円
受取和解金	47百万円	仲裁関連費用	▲43百万円
投資有価証券評価損	▲63百万円	その他法人税等	▲77百万円

3

Chapter 3 : Shareholder returns

株 主
還 元

株主還元

2023年12月期 期末配当 1株当たり **5円77銭**

2023年12月期までの3ヶ年（2021年12月期～2023年12月期）の配当方針

第22期

2021年12月期

配当性向21%

もしくは

1株当たり2円70銭

の higher 方

第23期

2022年12月期

配当性向22%

もしくは

1株当たり2円80銭

の higher 方

第24期

2023年12月期

配当性向23%

もしくは

1株当たり2円90銭

の higher 方

4 .

Chapter 4 : **Forecasts**

業績
予想

業績
予想

2024年12月期連結業績予想

[単位：百万円]

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2024年12月期 業績予想	62,000	14,200	770	1,000	580
2023年12月期 実績	59,006	13,524	921	1,313	966
増減額	2,993	675	▲151	▲313	▲386
増減率	5.1%	5.0%	▲16.4%	▲23.8%	▲40.0%

株主還元

2024年12月期以降の配当方針

2024年12月期からの3ヶ年（2024年12月期～2026年12月期）の普通配当につきましては、第1期を除く当社事業年度を基準とした配当性向（2024年12月期は第25期であるため24%）より算出される1株当たりの金額、もしくは1株当たり配当金3円00銭を基準に毎期10銭を増配した1株当たり配当金（2024年12月期は3円00銭）のどちらか高い方を目途いたします。

2024年12月期から3ヶ年（2024年12月期～2026年12月期）の配当方針

第25期

2024年12月期

配当性向24%

もしくは

1株当たり3円00銭

の
高い方

第26期

2025年12月期

配当性向25%

もしくは

1株当たり3円10銭

の
高い方

第27期

2026年12月期

配当性向26%

もしくは

1株当たり3円20銭

の
高い方

※ただし、大きな業績の変動や大規模なM&A等の経営環境等の変化によって、配当方針を変更する可能性があることにご留意ください。

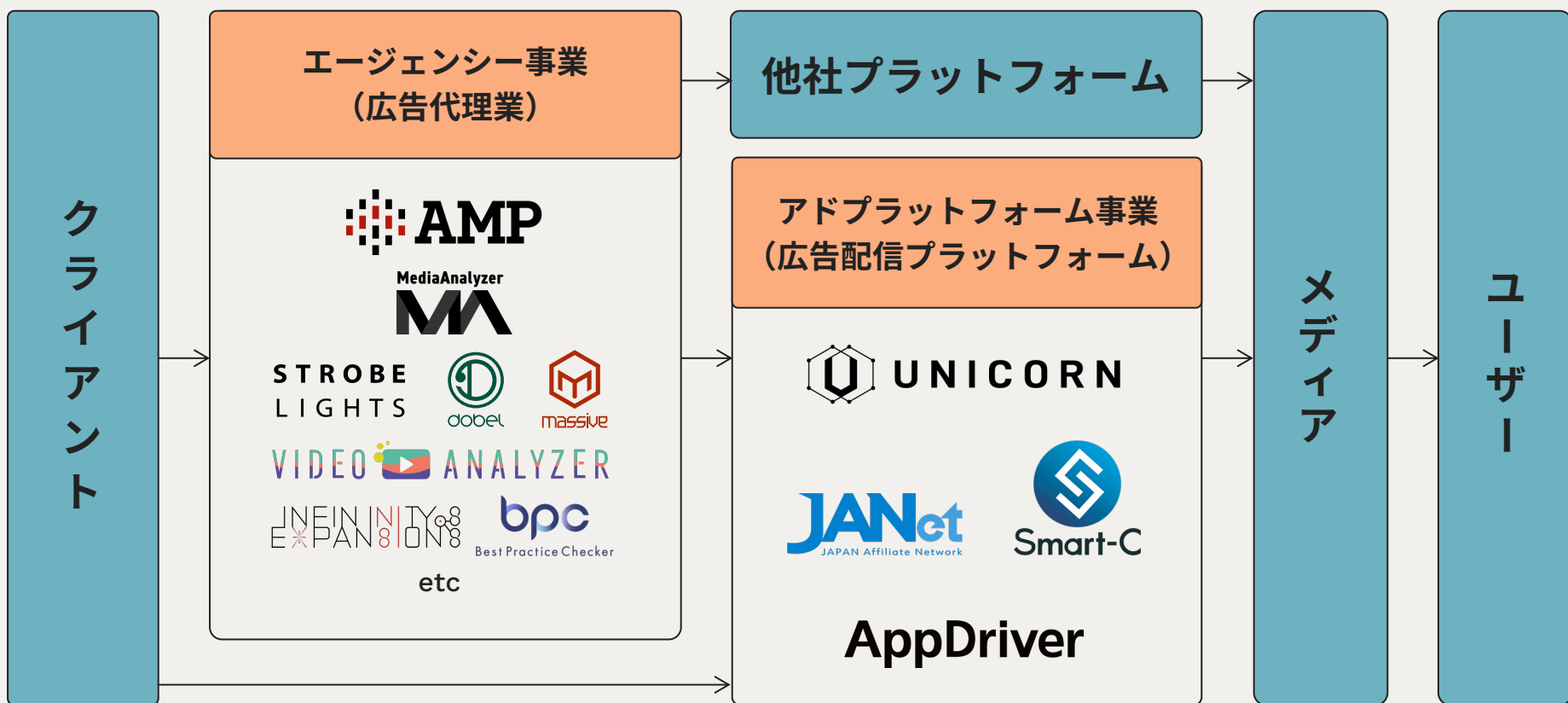
5

Chapter 5: business overview

事業概況

広告事業の概況

広告事業の分類



広告事業を、他社サービスの販売も行うエージェンシー事業と、自社の広告配信プラットフォームを運営するアドプラットフォーム事業に分類。

エー ジ エ ン シ ー
事業 (国内)

アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業

エージェンシー事業 (国内) 事業方針

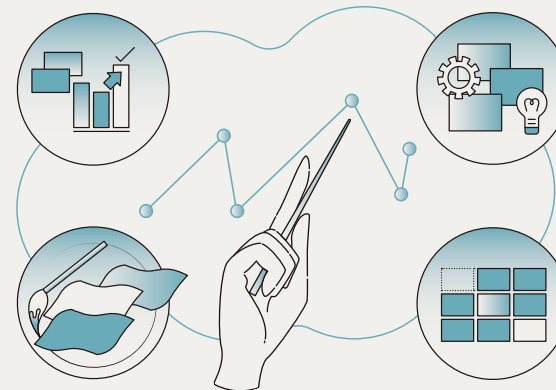
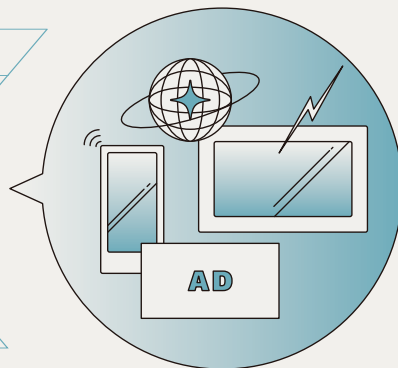
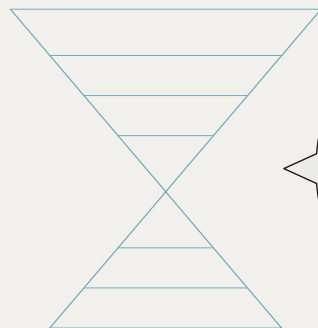
Fourth quarter

顧客の事業成長ドライバーとして、 マーケティングDXを実現

Hakuhodo DY holdings



Hakuhodo DY
media partners



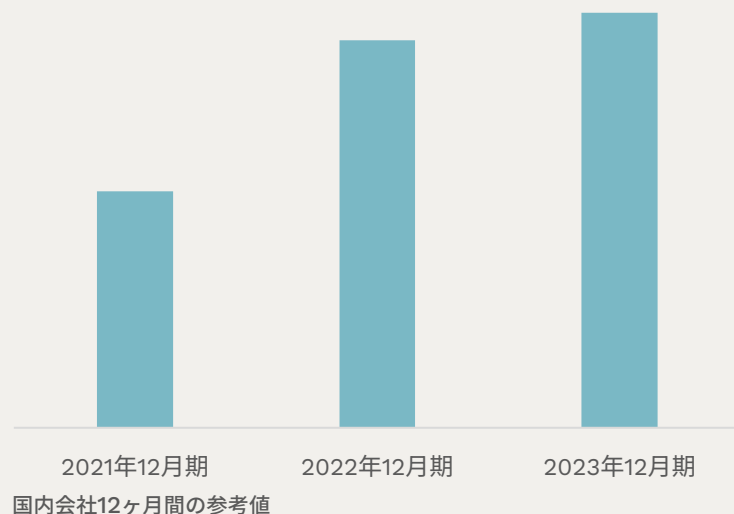
エージェンシー事業では、オフライン&オンラインの統合プランニングによる、包括的なマーケティング支援に取り組んでいます。ナショナルクライアント（ブランド広告主）へのアプローチや、“テレビとデジタルの統合プランニング”による“フルチャネル※1”“フルファネル※2”を意識した、より効果的なマーケティングプランを実行するため、広告という枠組みに囚われず、マーケティングコンサルタントとして、あらゆる課題解決に取り組みます。また、「人」による高い運用力・創造力とAIを活用した高度な「マーケティングテクノロジー」を融合し、本質的な広告価値を生み出すことで、クライアントの事業成長を包括的かつ効率的に支援いたします。

※1) フルチャネル：集客するための媒体、経路などを広く活用する事

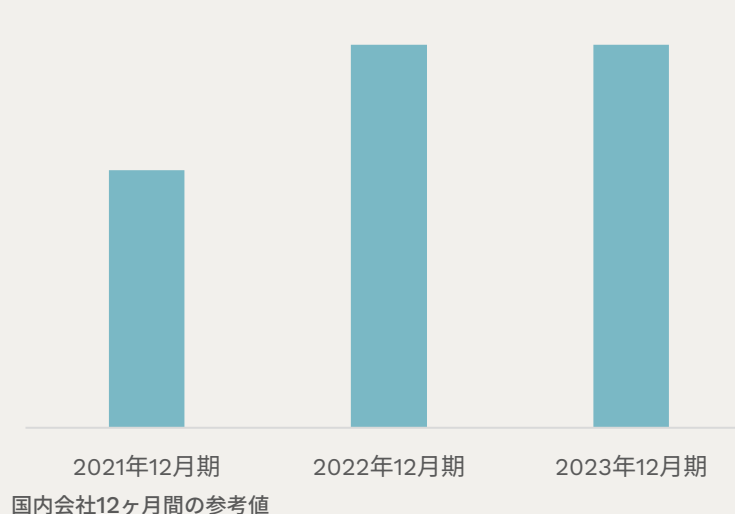
※2) フルファネル：消費者の商品に対する認知や検討、購入（利用）など多くの行動に対応する事

博報堂 D Y グループ 資本業務提携の 進捗

博報堂 D Y グループ 協業
売上総利益推移



博報堂 D Y グループ 協業
アカウント数推移



売上総利益が堅調に推移。

※2021年12月期は決算期の変更に伴い国内会社の会計期間が9ヶ月間のため、2021年3月期第4四半期(会計期間)を加え、12ヶ月間の数値としています。

アドプラット
フォーラム事業

UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業



UNICORN
REDEFINE DIGITAL MARKETING.

アドプラットフォーム事業 (UNICORN) 事業方針

チャンネル × 提供価値 × アカウントの
3軸で立体的に拡大

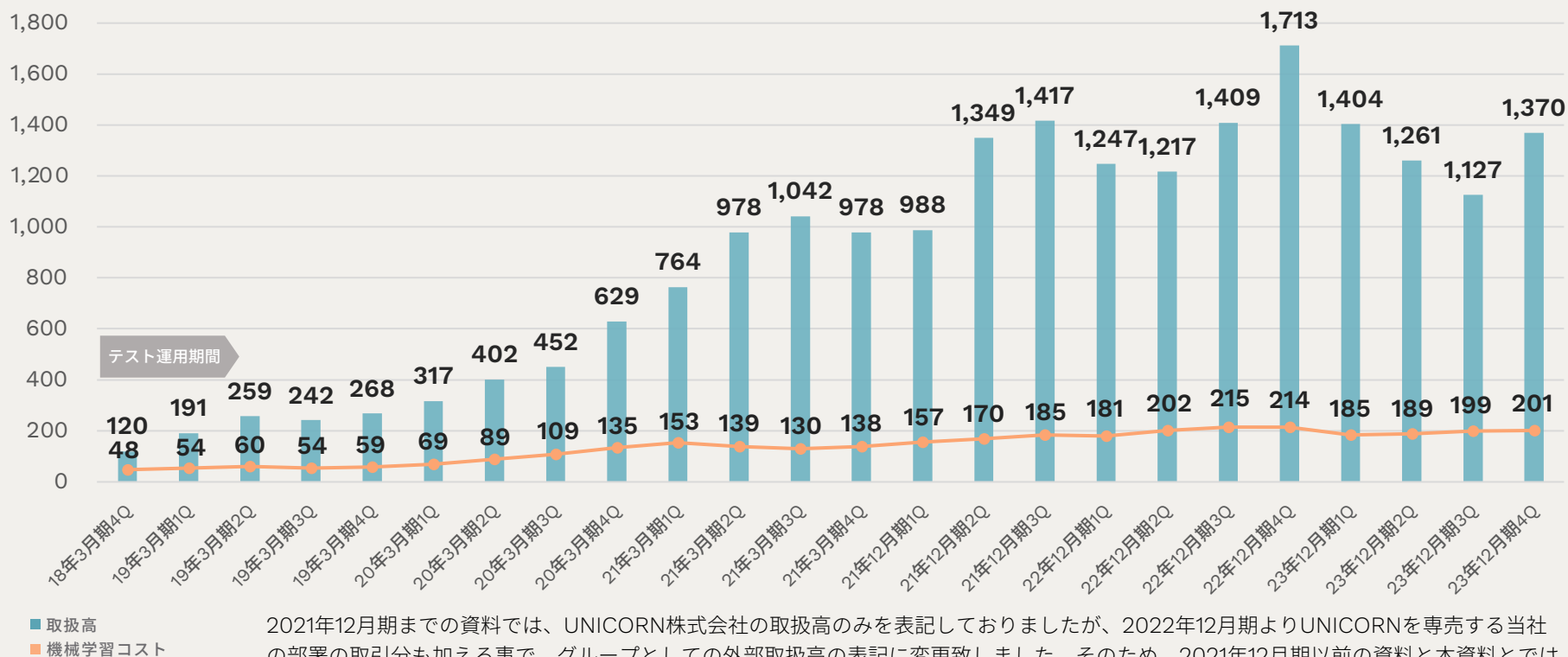


UNICORNでは、Apple Search Ads | Todayタブ、検索タブ、検索結果、プロダクトページでの自動最適化配信に加え、コネクテッドTVやOTT※等のサービスと連携し、配信面においても拡大を続けています。また、試験運用を経てYouTubeへの対応が完了し、広告配信メニューの提供を開始。あらゆるチャンネルでのユーザーコミュニケーションの最適化を実現してまいります。

UNICORNの進捗

UNICORNの取扱高／機械学習コスト推移

単位：百万円



2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。（他商材も扱う部署の取引分は加えておりません）

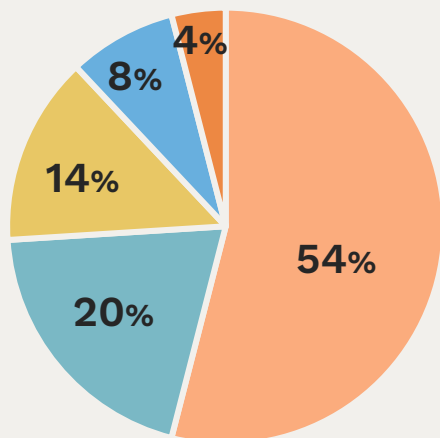
前年同期の一時的な大型プロモーションの反動などで前年同期比で80%となるも、前四半期2億43百万円増（21%増）。

About UNICORN

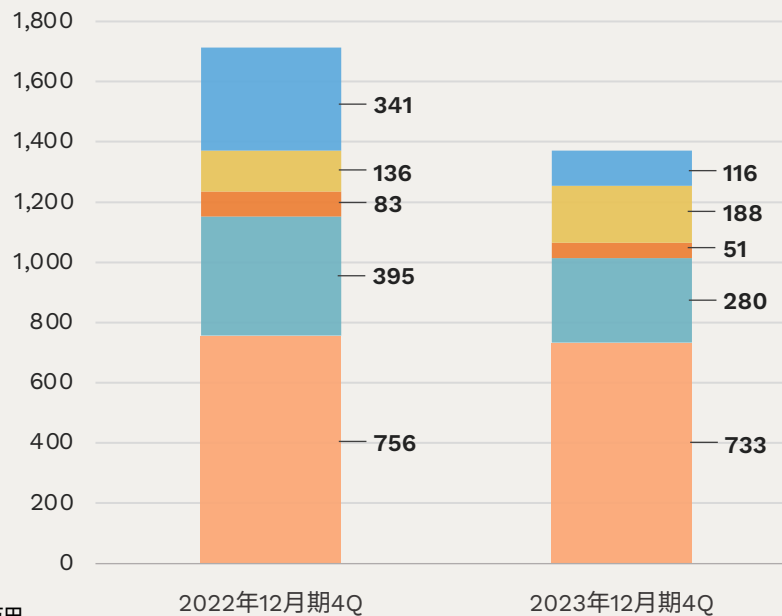
UNICORNの進捗

ジャンル別進捗

2023年12月期4Q実績



■ ゲーム ■ ブランド ■ マンガ ■ VOD ■ その他



単位：百万円

■ ゲーム ■ ブランド ■ マンガ ■ VOD ■ その他

VODのジャンルが増加、それ以外のジャンルは減少。

UNICORNの進捗

UNICORNの業績：前年同四半期比較

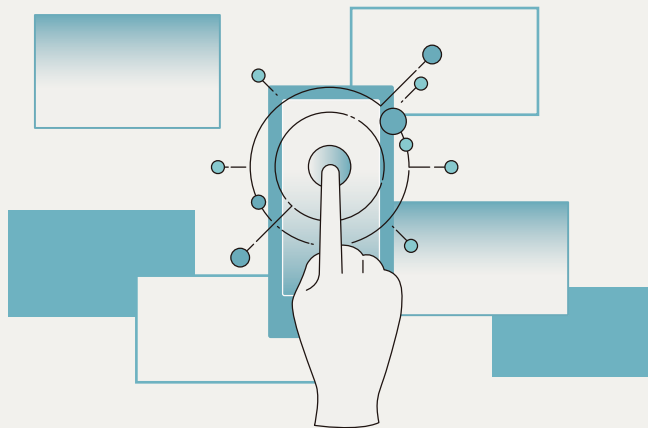
単位：百万円

	2023年12月期 第4四半期	前年同四半期比 2022年12月期第4四半期		
		実績	増減額	増減率
取扱高	1,370	1,713	▲342	▲20.0%
売上総利益	481	585	▲104	▲17.8%
営業利益	84	215	▲130	▲60.8%

前年同期に一時的な大型プロモーションがあったため、取扱高3億42百万円減少。

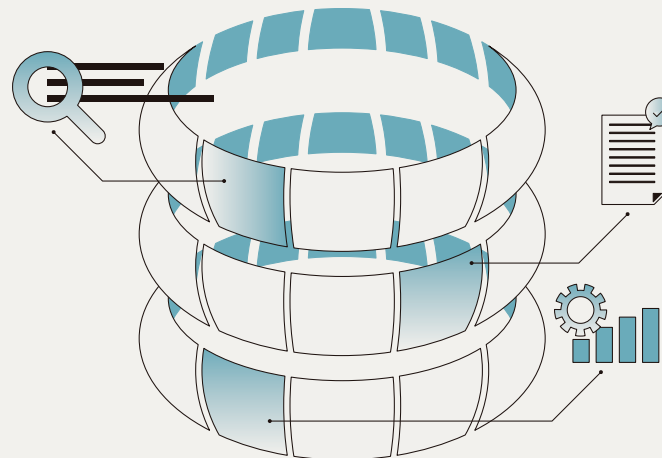
About UNICORN

先進的な広告手法 UNICORN Interactive AD



最先端の
クリエイティブフォーマット

Banner / Video / Reward Video
Native / Interactive



UNICORNでの
高精度な配信最適化

コンテキスト / ロケーション / デモグラフィック
キャリア / 承認リスト
(approved list)

これまでに無かったクリエイティブで、これまでは出会えなかったユーザーと
全く新しい形のコミュニケーションを実現。

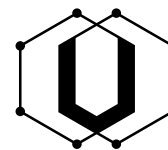
In-Game 広告ソリューションを提供する「Anzu」と連携を開始

ゲームの世界観に溶け込むような広告配信をすることで、UXが向上し、広告の受容性も高まることから広告効果の向上を図る。



ゲーム・メタバース/XR領域の メディア事業を手がける「ARROVA」 と包括的業務提携を開始

ARROVA



UNICORN

UNICORNの提供するゲームの世界観に溶け込むネイティブ広告「In-Game Ad」を、
両社のもつゲーム事業への知見・サポートノウハウを活かし、
ゲーム・メタバース/XR領域へ導入することで、市場の拡大に貢献。

※XR領域：現実世界と仮想世界を融合して、新しい体験を作り出す技術に関する領域

D E E E

Delight
喜び

Exciting
わくわく

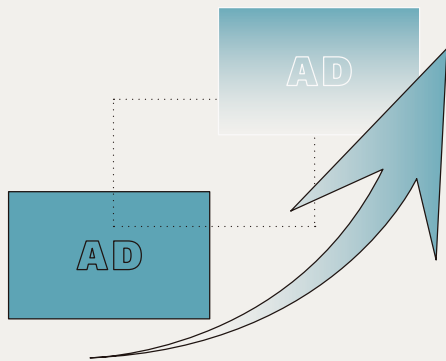
Eager
熱心

Exceed
超える

伝統と革新が融合する、
あたらしい集合体へ。

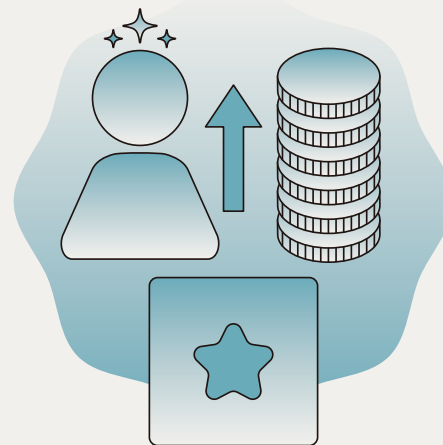
アドプラットフォーム事業 (ADWAYS DEEE)事業方針

JANet
JAPAN Affiliate Network



アフィリエイト広告を
新たな概念へアップデート。

AppDriver



生活者体験の向上×メディア収益最大化
を実現するサービス開発の強化。

JANet 20th Anniversary イベントを開催

「JANet」のサービス提供開始20周年を記念しイベントを開催。



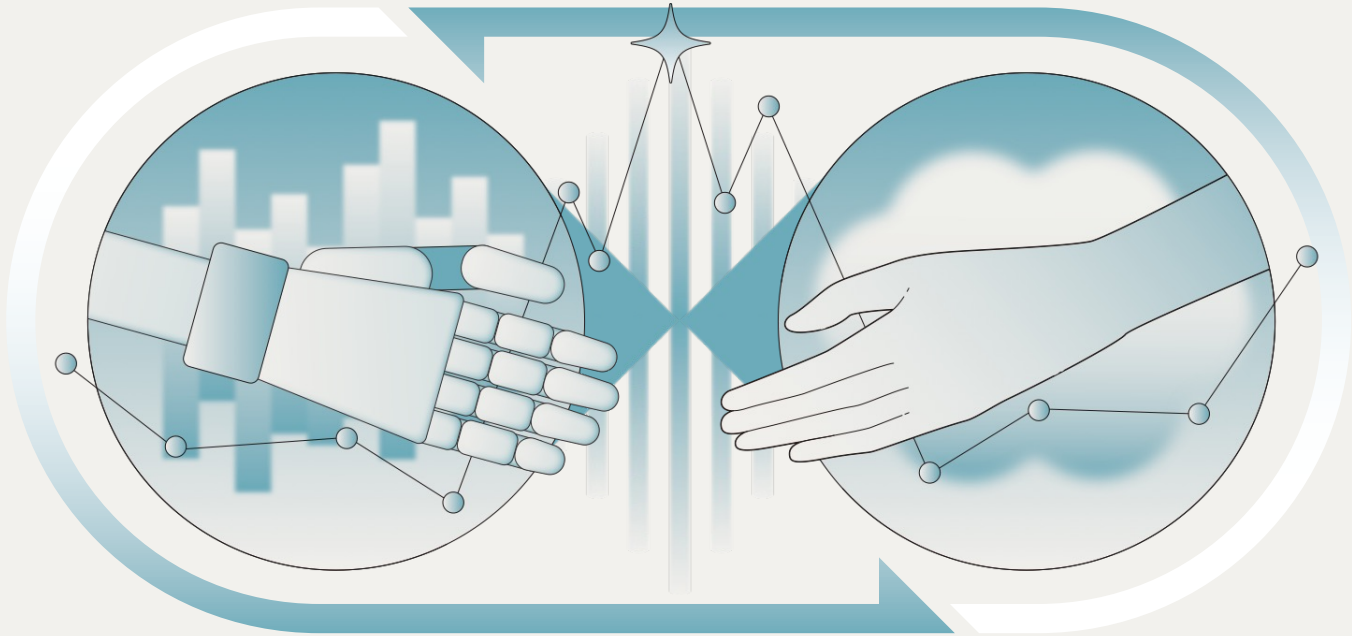
アフィリエイト広告の在り方や本質的な価値
についてトークセッションを実施。



111社／236名にご来場いただきました。

今後もアフィリエイト広告の透明性・公平性の向上、健全化を推進し、
「よかったがめぐる世界」の実現に向けて、業界の発展に努めてまいります。

人と機械の共生



人にはできないことを
機械化

機械にはできないことを
人に集約

パフォーマンスの**最大化**

PURPOSE OF ADWAYS

**全世界に
「なにこれ すげー こんなのはじめて」
を届け、
すべての人の可能性をひろげる
「人儲け」を実現する。**

本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2024年2月9日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。

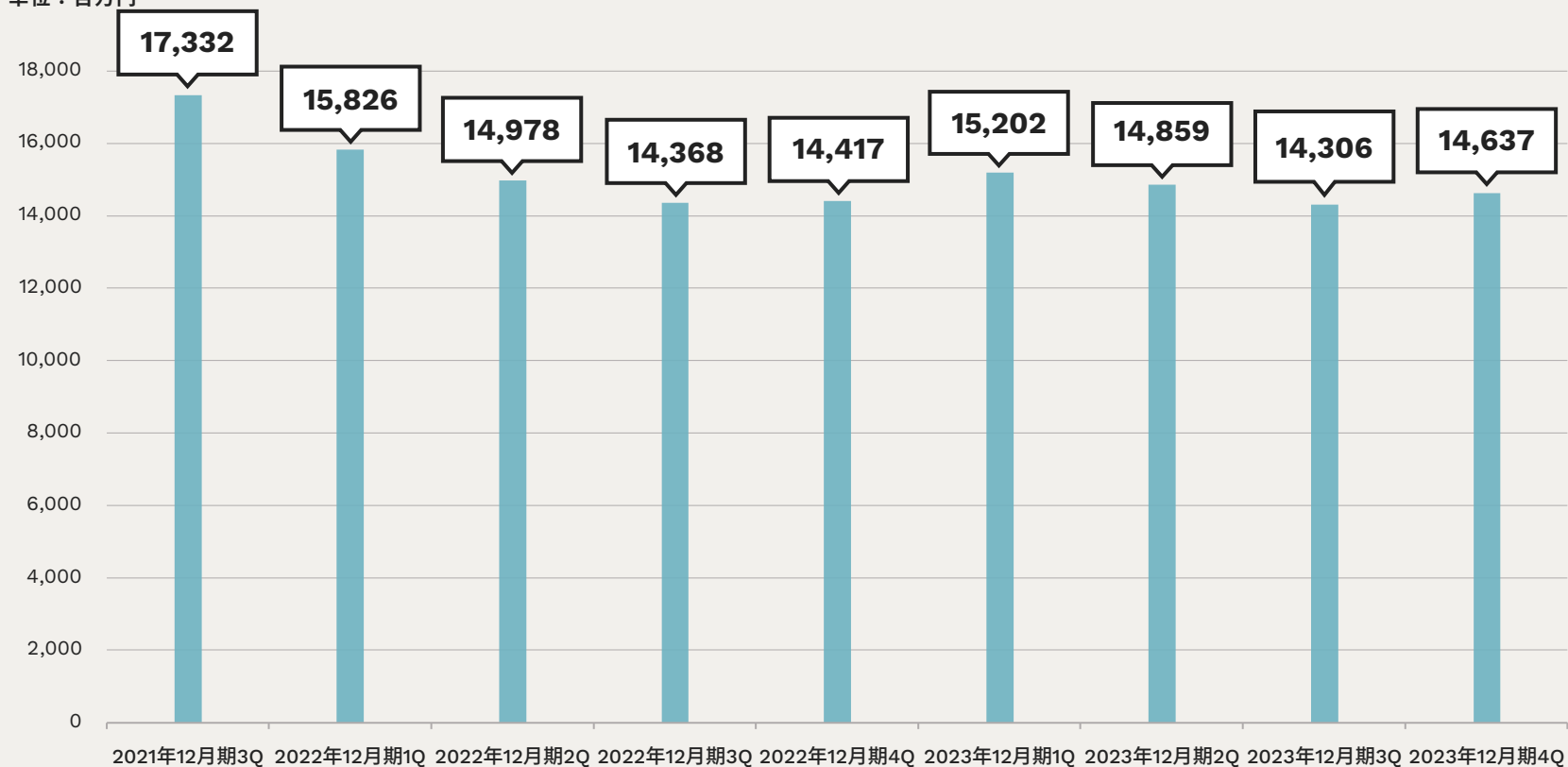
6

Chapter 6 : Supplementary materials

補 足
資 料

連結取扱高 四半期推移

単位：百万円

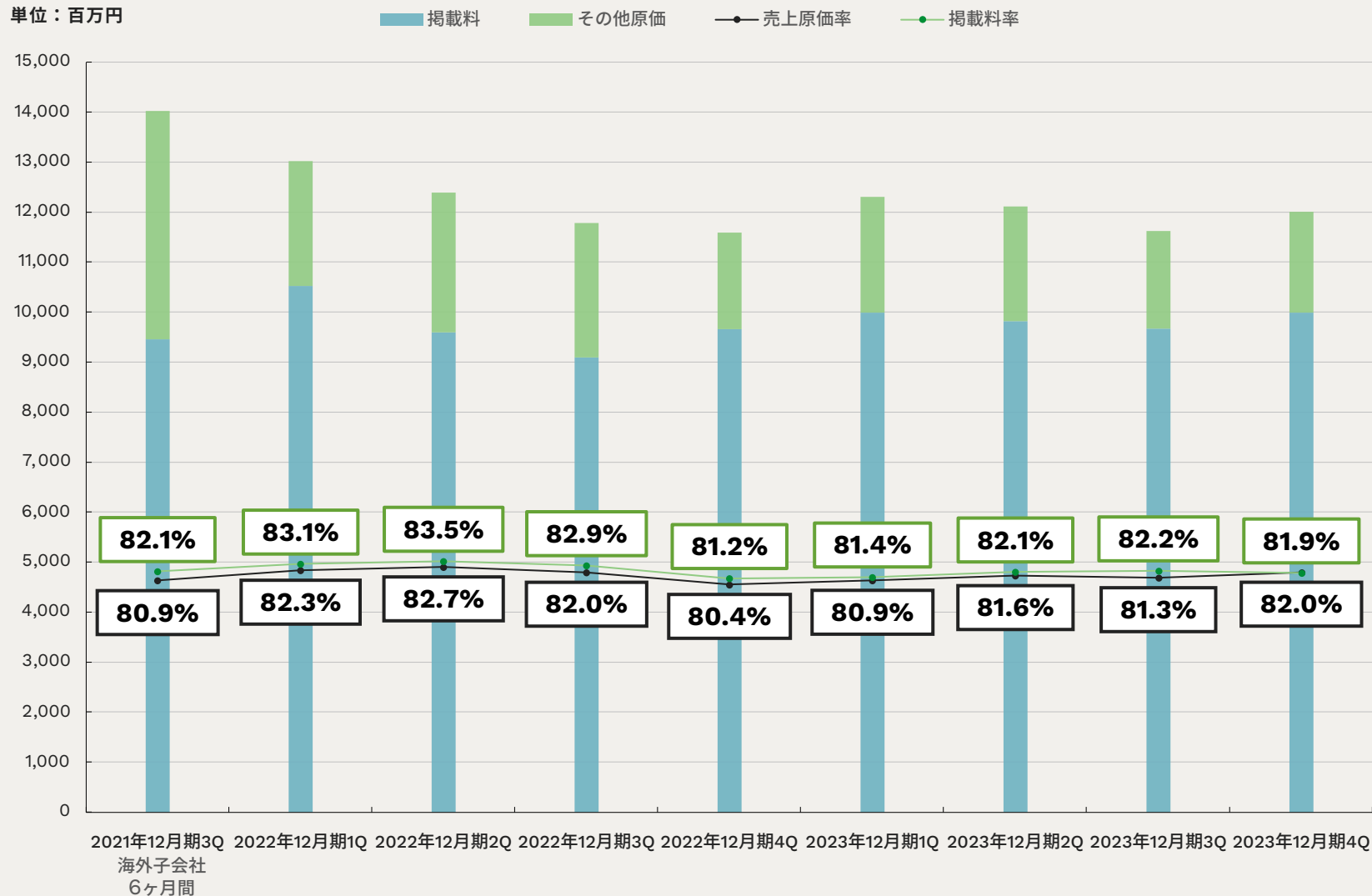


海外子会社
6ヶ月間

※ 「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結売上原価 四半期推移

単位：百万円



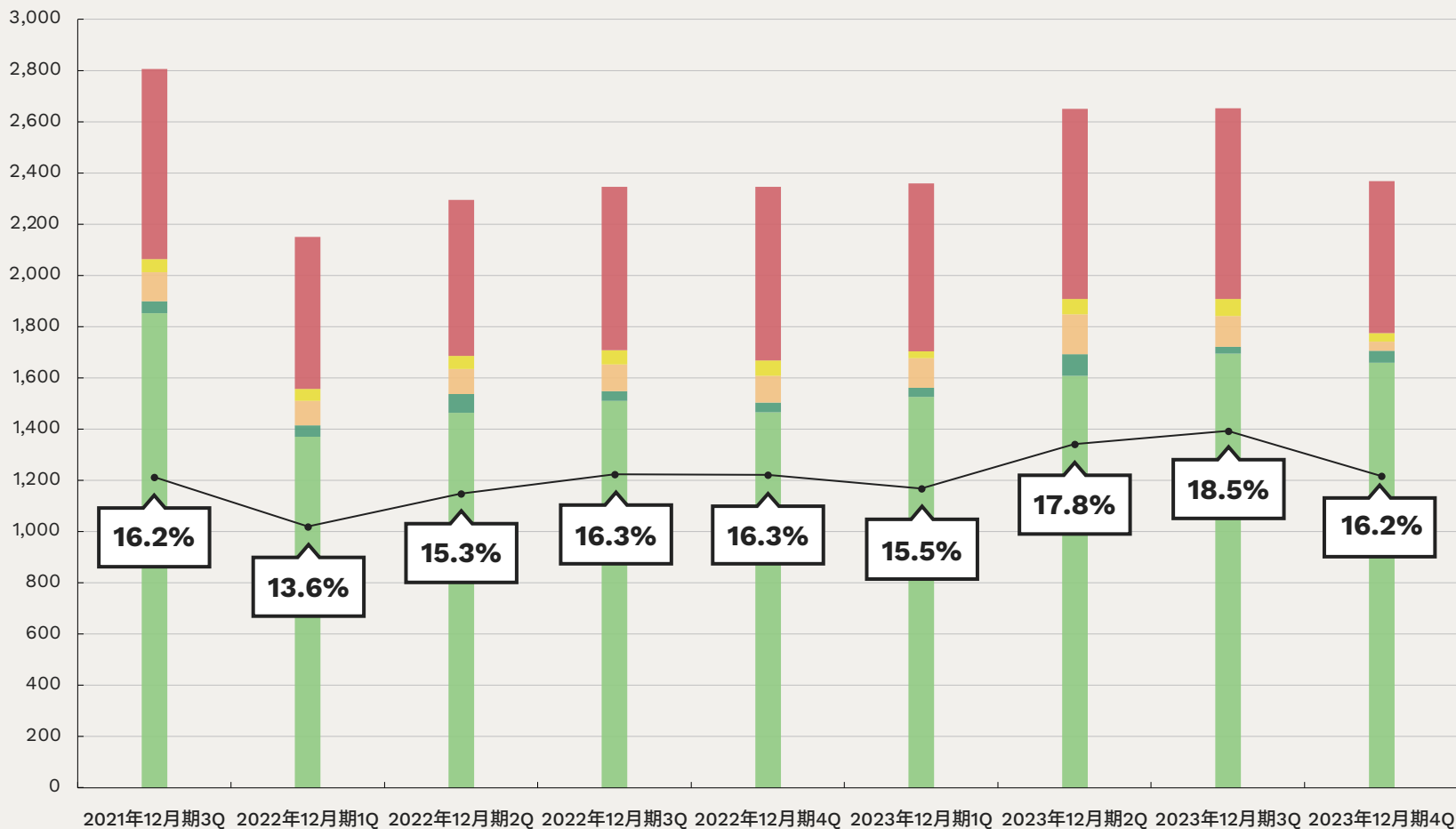
※ 「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

※ 掲載料、掲載料率は単体とADWAYS DEEE合計での数値となります。

連結販管費 四半期推移

単位：百万円

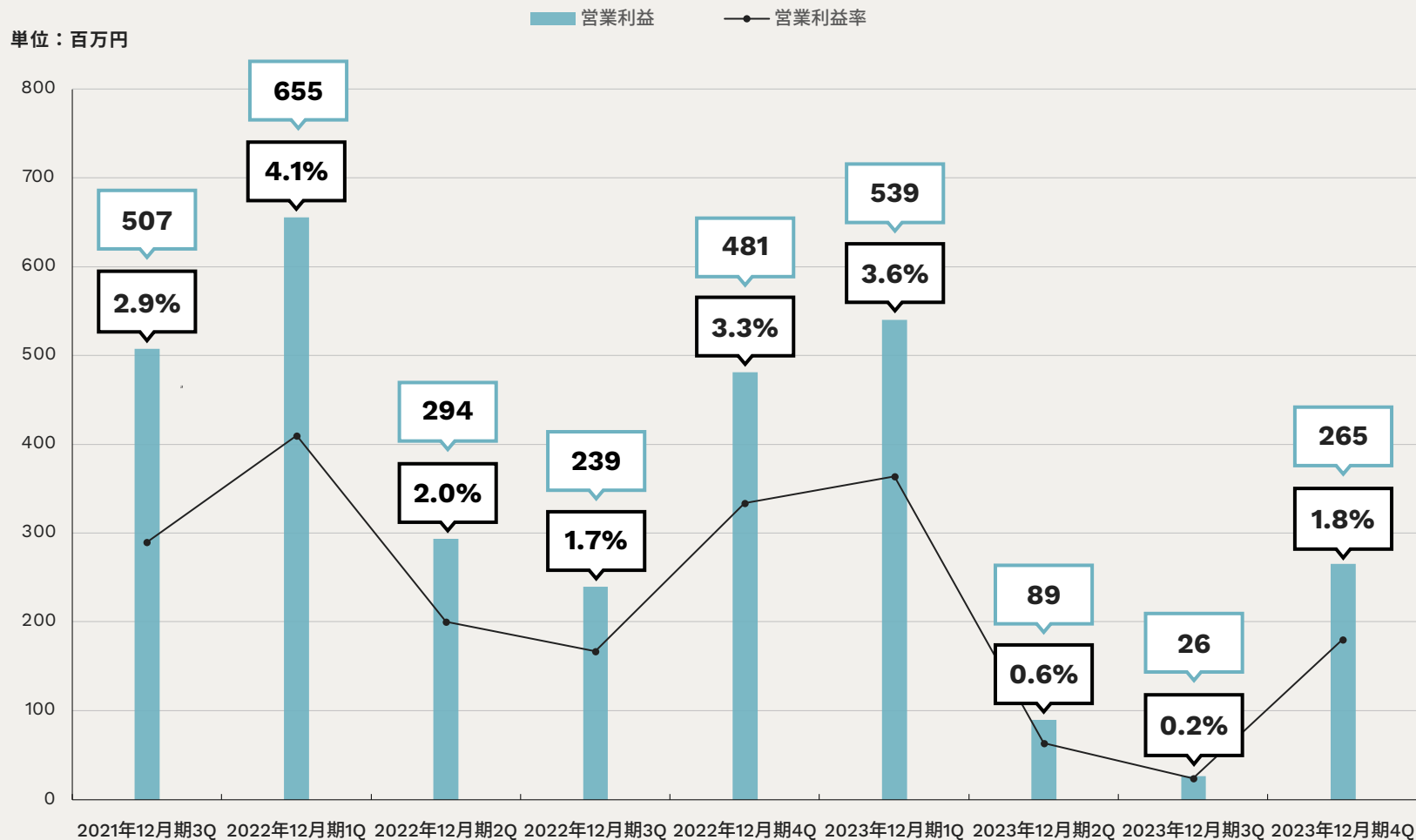
■ 人件費
 ■ 採用教育費
 ■ 地代家賃
 ■ 減価償却費
 ■ その他経費
 ● 販管費率



海外子会社
6ヶ月間

※ 「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結営業利益 四半期推移



海外子会社
6ヶ月間

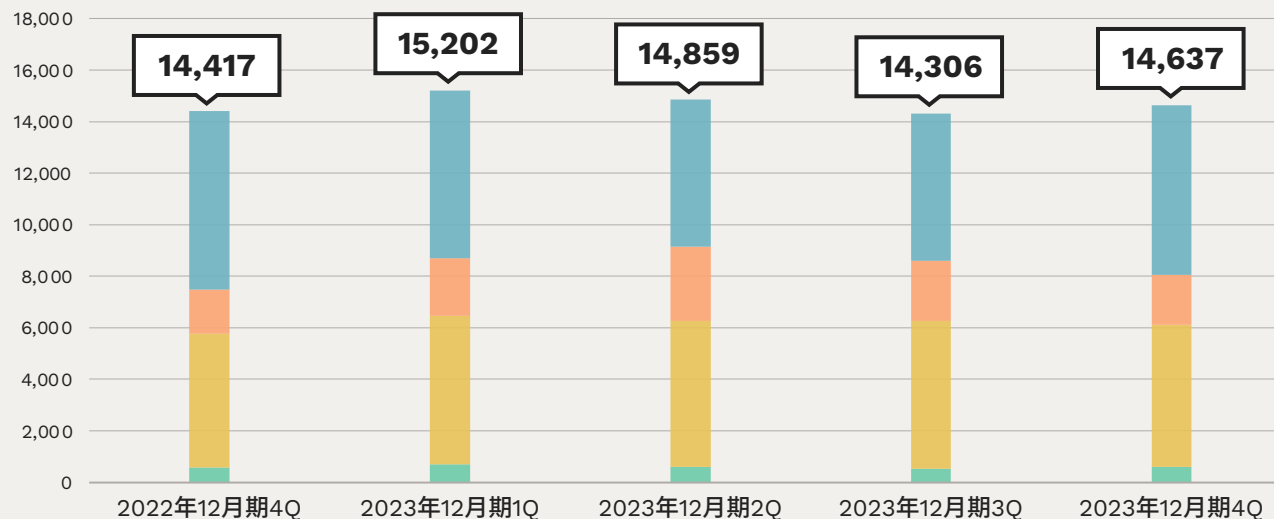
※ 「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結貸借対照表（前四半期比）

単位：百万円

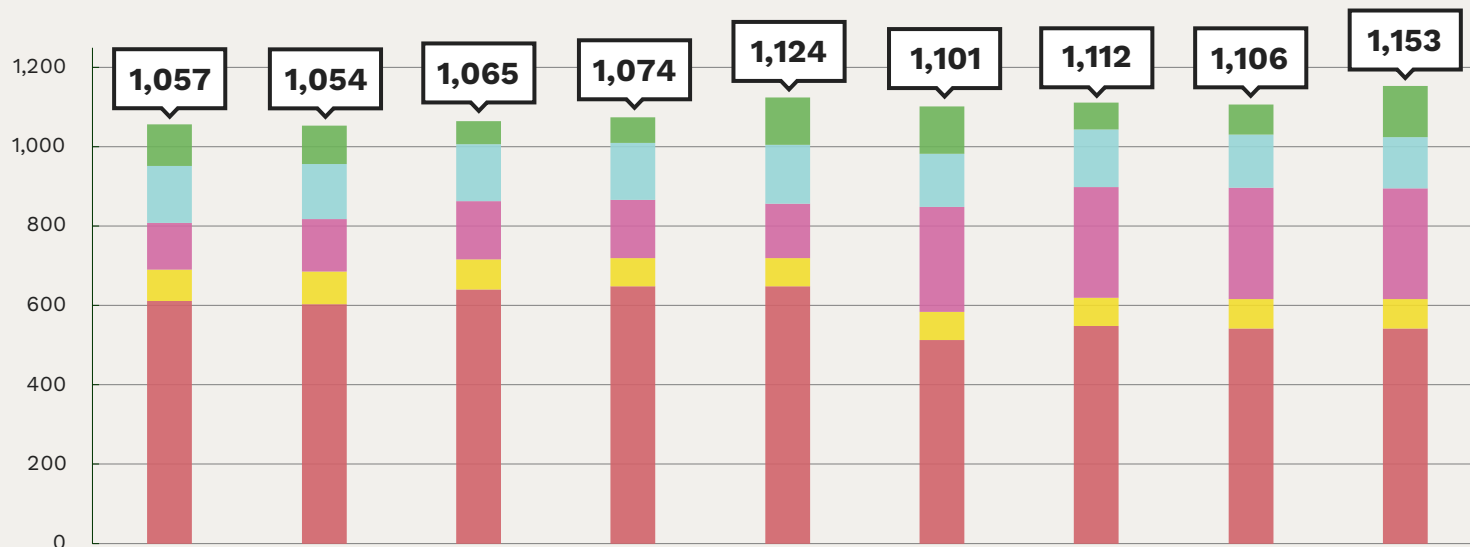
	2023年12月期4Q	2023年12月期3Q	増減額	増減率
流動資産	19,940	19,095	+844	+4.4%
（現預金）	10,194	9,757	+436	+4.5%
固定資産	5,287	5,444	▲157	▲2.9%
総資産合計	25,227	24,540	+686	+2.8%
流動負債	10,342	9,741	+601	+6.2%
固定負債	283	351	▲67	▲19.3%
負債合計	10,625	10,092	+533	+5.3%
純資産合計	14,601	14,447	+153	+1.1%

セグメント内訳別連結取扱高構成比 四半期推移



	2022年12月期4Q	2023年12月期1Q	2023年12月期2Q	2023年12月期3Q	2023年12月期4Q	前四半期比	
						増減額	増減率
■ エージェンシー(国内)	6,934	6,511	5,712	5,692	6,589	+896	+15.8%
■ エージェンシー(海外)	1,711	2,221	2,874	2,355	1,930	▲424	▲18.0%
■ アドプラットフォーム	5,182	5,772	5,666	5,724	5,496	▲228	▲4.0%
■ その他	587	698	606	533	621	+87	+16.5%
合計	14,417	15,202	14,859	14,306	14,637	+331	+2.3%

当社グループの従業員数 四半期推移



単位：名	2021年 12月期3Q	2022年 12月期1Q	2022年 12月期2Q	2022年 12月期3Q	2022年 12月期4Q	2023年 12月期1Q	2023年 12月期2Q	2023年 12月期3Q	2023年 12月期4Q
日本アドウェイズ	611	603	641	648	649	513	548	543	542
中国アドウェイズ	80	83	76	72	71	72	72	74	75
国内子会社	117	132	146	147	137	263	279	280	279
海外子会社（中国以外）	144	138	144	143	148	135	145	133	128
派遣／アルバイト等	105	98	58	64	119	118	68	76	129
合計	1,057	1,054	1,065	1,074	1,124	1,101	1,112	1,106	1,153

※2023年12月期1Qより、アドプラットフォーム事業を分割し、子会社化したため、日本アドウェイズが減少、国内子会社が増加しています。

会社概要

会社名 株式会社アドウェイズ（英名：Adways Inc.）

設立年月日 2001年2月28日

事業概要 インターネット関連事業

代表者氏名 山田 翔

資本金 1,717百万円 [2023年12月末日現在]

取扱高 59,006百万円 [2023年12月期連結]

従業員数 1,153名（グループ全体） [2023年12月末日現在]

※臨時雇用者含む